

令和5年度

社会福祉法人城ヶ崎いこいの里

事業報告書

## - 目 次 -

○法人本部拠点区分	.....P 1
○城ヶ崎いこいの園拠点区分	.....P 7
○碧の園拠点区分	.....P 15
○さくらグループ拠点区分	.....P 55
○奥野苑拠点区分	.....P 61
○ケアハウス拠点区分	.....P 73
○やまもも拠点区分	.....P 77
○こもれび拠点区分	.....P 83
○奨学金拠点区分	.....P 95
○城ヶ崎デイサービスセンター拠点区分	.....P 97
○おおむろ拠点区分	.....P 103
○事業報告の附属明細書	.....P 107

令和5年度

法人本部拠点区分

事業報告書

## 1 総括

社会福祉法人城ヶ崎いこいの里法人理念「共に歩む福祉・心で育む福祉・地域に広がる福祉」に基づき、その提供する福祉サービスの質の向上、事業経営の透明性及び経営基盤の強化に努めました。また、各種会議の開催並びに職員の人材確保及び定着等に努めました。

## 2 実施状況

### (1) 理事会・評議員会等の開催

ア 令和5年度の理事会は、次のとおり開催しました。

	開催年月日	主な議決事項
1	令和5年4月21日	・ 特別養護老人ホーム城ヶ崎いこいの園 福祉機器の整備補助事業で採択された事業の実施について
2	令和5年6月8日	・ 令和4年度事業報告について ・ 令和4年度収支決算について ・ 監事監査報告について ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・ 令和5年度第一次補正予算について ・ 就業規則及び運営規程の一部改正について ・ 理事・監事候補者について ・ 評議員候補者について ・ 苦情解決に係る第三者委員の選任について ・ 6月賞与について ・ 評議員選任・解任委員会の招集について ・ 定時評議員会の招集について
3	令和5年6月23日	・ 理事長及び常務理事の選定について
4	令和5年9月27日	・ 給与規程の一部改正について ・ 苦情解決に係る第三者委員の選任について ・ 特別養護老人ホーム城ヶ崎いこいの園福祉機器の整備補助事業の完了について
5	令和5年12月13日	・ 令和5年度中間会計報告について ・ 中間監事監査報告について ・ 法人運営指針について ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・ 令和5年度第二次補正予算について

	開催年月日	主な議決事項
6	令和6年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給与規程及び運営規程の一部改正について</li> <li>・ 令和5年度第三次補正予算について</li> <li>・ 令和6年度事業計画について</li> <li>・ 令和6年度資金収支予算について</li> <li>・ 役員等賠償責任保険の加入について</li> <li>・ 碧の園トイレ改修工事について</li> <li>・ 評議員候補者について</li> <li>・ 評議員選任・解任委員会の招集について</li> <li>・ 評議員会の招集について</li> <li>・ 施設長の選任について</li> </ul>

イ 令和5年度の評議員会は、次のとおり開催しました。

	開催年月日	主な議決事項
1	令和5年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度事業報告について</li> <li>・ 令和4年度収支決算について</li> <li>・ 監事監査報告について</li> <li>・ 令和5年度第一次補正予算について</li> <li>・ 理事・監事の選任について</li> </ul>
2	令和5年12月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度中間会計報告について</li> <li>・ 中間監事監査報告について</li> <li>・ 令和5年度第二次補正予算について</li> <li>・ 法人運営指針について</li> </ul>
3	令和6年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第三次補正予算について</li> <li>・ 令和6年度事業計画について</li> <li>・ 令和6年度資金収支予算について</li> </ul>

ウ 令和5年度の評議員選任・解任委員会は、次のとおり開催しました。

	開催年月日	主な議決事項
1	令和5年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評議員の退任について</li> <li>・ 評議員の選任について</li> </ul>
2	令和6年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評議員の退任について</li> <li>・ 評議員の選任について</li> </ul>

( 2 ) 法人本部会議

令和5年度の本部会議は、次のとおり開催しました。

	開催年月日	主な内容
1	令和5年5月26日	・ 理事会及び評議員会提出議案について
2	令和5年9月15日	・ 理事会提出議案について
3	令和5年11月24日	・ 理事会及び評議員会提出議案について
4	令和6年2月22日	・ 理事会及び評議員会提出議案について

( 3 ) 経営戦略会議

顧問会計士を交え、経営戦略会議を2か月に1回開催しました。各施設・事業所の利用率、予算、コスト管理等の運営及び経営における課題について把握し、課題解決に向け、取組状況の共有に努めました。

	開催年月日	主な内容
1	令和5年4月3日	・ 令和4年12月及び令和5年1月の経営成績等
2	令和5年6月16日	・ 令和4年度決算報告
3	令和5年7月31日	・ 令和5年4月及び5月の経営成績等
4	令和5年9月29日	・ 令和5年6月及び7月の経営成績等
5	令和5年12月1日	・ 中間会計報告 ・ 令和5年8月及び9月の経営成績等
6	令和6年2月5日	・ 令和5年10月及び11月の経営成績等
7	令和6年3月29日	・ 令和5年12月及び令和6年1月の経営成績等

( 4 ) 施設長会議

毎月1回、法人内各施設・事業所の連絡調整及び情報共有を行いました。

( 5 ) 人材管理

ア 人材確保

中途採用については、伊東市内等で開催された無資格・未経験の求職者を対象にした福祉の就職セミナーに参加し、求職者の就職支援を行いました。採用が困難なグループホーム職員の確保に向け、グループホームの採用パンフレットの作成を行い、求職者への情報提供に努めました。

入職まで一人一人の求職者に伴走することで、例年同様の人材数の確保ができたものと考えます。また、必要に応じて、有料の求人広告や人材紹介サービスを利用し、人材の確保を進めました。

新規学校卒業者については、静岡県社会福祉協議会、静岡労働局等が主催する合同企業説明会やオンラインによるWEB説明会、面談によるキャリア支援など積極的に対応しましたが、令和6年度新規学校卒業者を採用することができませんでした。早期化する学生の就職活動に対応できるように学校訪問などを強化し対応するよう努めてまいります。

#### イ 職員の育成及び定着

社会福祉充実計画に基づき、職員育成事業として、職員の資質向上を図るため、令和5年度においても、介護福祉士等の資格取得に必要な講習や研修参加に係る受講費用を補助しました。また、令和5年度に採用した新規学校卒業者、中途採用職員等に対しては、面談実施要綱に基づき、法人本部担当者による面談を実施し、職場への定着に努めました。

#### (6) 労務管理

新型コロナウイルス感染症クラスター発生に伴い発生した労働災害について、事務手続きを適正に行いました。

#### (7) 地域における公益的な取組

静岡県社会福祉協議会が主催する、小学生が福祉の仕事に興味や関心を持ち、その魅力ややりがいを知っていただくための出前授業「福祉のお仕事魅力発見セミナー」に参画し、市内の小学校において、職員が講師を務めました。

開催年月日	実施内容
令和5年10月18日	大池小学校（4年生）

#### (8) 情報開示及び提供

改正社会福祉法に基づく情報開示について、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムにより、法人の財務情報等を適正に開示し、事業運営の透明性の確保に努めました。また、各施設・事業所と連携を図り、外部に対し法人・施設の取組等を法人ホームページ等により情報発信し、公益性の高い社会福祉法人として、地域社会との信頼関係の向上に努めました。

#### (9) 法人運営改善プロジェクト

法人本部の強化等を検討するためのプロジェクトチームで、法人運営指針等の作成に参画しました。



令和5年度

城ヶ崎いこいの園拠点区分

事業報告書

## 第1 特別養護老人ホーム城ヶ崎いこいの園

### 1 総括

令和6年1月16日から2月1日にかけて、入居者・職員を合わせ30名の新型コロナウイルス感染者を確認いたしました。感染対応期間には、関係する皆様に大変ご迷惑をおかけすることとなりました。

入居者の安全で安心できる生活環境を目指し、引き続き感染症対策に取り組んでまいります。

感染症対応期間以外では、各援助の内容や、園内行事で会食を行う等、生活の充実を図り、入居者の生活の質の向上に努めました。また今年度も認知症カフェや対島地域事業者連絡協議会の運営に携わるなど、継続して地域福祉の向上に協力しました。

### 2 実施状況

#### (1) 介護サービスの質の向上について

ア 虐待防止検討委員会を開催し、不適切なケアや環境について確認を行いました。また委員会主催にて虐待身体拘束の防止、言葉遣いに関する勉強会を行い虐待防止に努めました。

イ 口腔衛生委員会を開催し、口腔ケアの新しい方法の導入や、歯科医師を招いての勉強会を行い口腔衛生の向上に努めました。

ウ 褥瘡対策委員会を開催し、褥瘡予防に関する計画書の作成、見直しを行いました。また、委員会主催の勉強会にて褥瘡の原因や予防策について学びました。

エ 感染対策委員会を開催し、感染症対応物品の在庫及び保管に関する確認や、感染症予防についての知識や発生時の対応の勉強会を行いました。

オ 非常災害対策委員会を設置し、感染症発生及び災害時のシミュレーション訓練を行いました。

カ 事故防止検討委員会を開催し、事故状況の情報収集及び分析のための報告書作成に関する確認や検討を行いました。夜間における転落事故についての要因や防止策について考察する勉強会を行いました。

キ 上記、各委員会を開催し、入居者の快適で安全な生活環境の提供を行いました。

#### (2) 家族・地域との連携について

ア 窓越し面会のニーズに応えるため、ご家族の希望に添えるよう対応時間枠を追加しました。

イ 対島地域ふるさと協議会の運営委員を担い、認知症カフェや対島地

域事業者連絡協議会の開催に協力しました。また、地域健康フェスタに参加するなど、地域イベントの運営にも協力しました。

(3) 食事について

- ア 栄養士が作成した献立表に基づき、季節を感じられる食事提供をしました。
- イ 選択メニューを週1回実施し、食の楽しみを提供しました。
- ウ 個々の状況に合わせた栄養状態の食事提供を行いました。

(4) 保健衛生について

- ア バイタル測定を行い日々の健康管理に努めました。
- イ 健康診断の調整や予防接種の援助を行いました。
- ウ 職員に対し、ストレスチェックを行いました。
- エ 月に1度安全管理委員会を開催しました。

(5) 施設等整備について

- ア 老朽化していた特殊浴槽の更新を行いました。

3 利用実績等

(1) 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	1485	1530	1500	1533	1505	1447	1487	1494	1507	1495	1273	1362	17,618
令和4年度	1474	1542	1496	1536	1491	1410	1488	1467	1520	1472	1288	1450	17,634

(2) 面会者来園状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度	32	30	28	27	27	25	29	30	40	10	23	36	337組
令和4年度	21	25	24	23	8	7	28	19	30	24	23	25	257組

\* 窓越し面会(館内含む)の数となります(1月は館内でコロナウイルス発生)

(3) 月別入退所者数

月	入所の状況					退所の状況		
	家庭	病院	老健	グループホーム	有料老人ホーム	死亡	病院	その他
4月								
5月			1			1		
6月								
7月	1					1		1
8月			2	1		3		
9月			1		1	3		
10月	1		2			2		
11月	1					1		
12月	1		1			2		
1月						2		
2月			1			4		
3月			3			2		
計	4	0	11	1	1	21	0	1
	入居数 17名					退居数 22名		

第2 城ヶ崎いこいの園指定短期入所生活介護事業所

1 総括

利用者の安全を確保するため、館内の衛生管理と基本的な感染防止対策を徹底しました。また、自立支援に基づいたケアや個別のニーズに応じた支援を心掛け、家族や居宅介護支援事業所と連携をとりながらサービスの向上に努めました。

2 実施状況

(1) 介護サービスの提供について

ア 家庭での介護が充実するよう介護方法を検討しました。

イ 利用者が家庭でできることを大切にし、その能力が維持できるよう残存能力を活用した援助を行いました。

ウ 心身の状態、家族の状況、本人を取り巻く環境、生活に対する意向

や要望など情報の把握に努めました。また、必要に応じて面接を実施しました。

エ 利用者から得たケアに必要な情報を共有することで、サービスの標準化を図りました。

オ 利用者の苦痛や介護負担を軽減するため機能訓練を実施しました。

カ 利用時の状況を家族に報告し、介護の提案を行いました。

キ 利用者の心身の状況に応じて居室の環境を整えました。また、退所時に清掃や消毒を行いました。

(2) 居宅介護支援事業所との連携について

ア 在宅生活を支えるチームの一員であることを意識し、居宅介護支援事業所や他の在宅サービス事業所と情報共有を図りました。

イ 利用希望者が円滑にサービスを受けられるよう、居宅介護支援事業所へ空床情報を提供しました。

(3) 提供サービスの質の向上について

ア 併設施設である特別養護老人ホーム城ヶ崎いこいの園で実施されている各委員会活動及び勉強会での研修をふまえ、質の高いサービス提供を心掛けました。

### 3 利用実績

月	令和4年度			令和5年度		
	利用人数	延利用日数	送迎数	利用者数	延利用日数	送迎数
4月	4	35	6	5	29	14
5月	3	10	4	8	55	18
6月	3	8	2	6	44	19
7月	5	26	5	7	49	18
8月	2	39	0	7	38	14
9月	5	48	4	7	33	13
10月	4	40	7	6	47	14
11月	8	48	17	5	31	13
12月	6	29	13	6	54	13
1月	7	42	14	4	21	8
2月	5	47	12	3	16	10
3月	6	41	15	7	45	27
計	58	413	99	71	462	181

### 第3 いこいの園デイサービスセンター

#### 1 総括

新型コロナウイルスの感染対策を継続しつつ、利用者が安心安全に利用いただけるよう環境整備を行いました。また、外部ボランティア等を招いてのイベントは実施出来ませんでした。毎月訪問販売等に来ていただき、利用者を楽しんでいただく事ができました。

#### 2 実施状況

##### (1) 介護等について

ケース担当制度を軸とした定期的な会議を開催し、個別処遇を更に強化し、利用者や家族のニーズに沿った質の高い介護の提供に努めました。

##### (2) 日常業務について

ア 送迎の安全確保のため、原則スタッフ2名体制での送迎を実施し、交通事情や天候等を考慮しながら、利用者の安全確保に努めました。

イ 看護師による体調管理等を行うことにより、体調の変化や疾病の早期発見に努めました。

ウ 利用者の身体状況に応じた入浴支援を実施し、心身ともにリラックスしていただけるよう配慮しました。

エ 機能訓練士が利用者個々の状態に合わせた機能訓練を行い、心身の機能の維持・向上に努めました。また、家族への報告も行っています。

オ 利用者の食事形態や嗜好を考慮し、楽しく食事ができるよう努めました。また、アクリル板を設置するなど、感染対策も引き続き行っています。

カ 趣味活動やレクリエーションについては、スタッフが毎回新しい取り組みを考えました。また、パンや移動スーパー、洋品店等の訪問販売や訪問美容室を依頼することにより買い物等を楽しんでいただきながら、利用者の利便性も増すことができ、有意義な時間を過ごしていただくことができました。

キ 館内にコロナウイルスが持ち込まれないよう、マスク着用や換気に努めるとともに、送迎車に乗る前の体温確認、到着時には手指消毒、バイタルチェックを行い、送迎車は使用の都度車内消毒を実施しました。

(3) 年間実施行事

ア 4～6月

スイーツビュッフェ、新緑を愛でる会、あじさい祭り

イ 7～9月

七夕祭り、敬老パーティー、夏祭り

ウ 10～12月

運動会、クリスマス会、キッチンカー&ビュッフェ

エ 1～3月

新年会、豆まき会、ひな祭り会

3 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年	363	376	370	364	354	342	330	350	366	398	421	455	4,489
令和4年	469	477	470	429	292	388	375	374	347	332	322	354	4,629



令和5年度

碧の園拠点区分

事業報告書

## 第1 障害者支援施設碧の園

### 1 総括

碧の園において、入浴・排泄・及び食事等の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援を行いました。新型コロナウイルスが第5類となったことにより少しずつ以前の体制に戻るよう目指しました。利用者の高齢化・重度化が引き続き課題となっており、より細やかに対応するための支援が課題となっています。

### 2 重点目標に対する取り組みと成果

- (1) 利用者の意向・障害の特性、その他の事情を含めた個別支援計画の作成により継続的な評価を行いました。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った福祉サービスの提供を行ったことにより、支援員もどのように日常生活を支援すれば利用者に喜ばれるか自発的に考え、意見・共有できるようになりました。
- (3) 利用者の人権擁護・虐待の防止・障害者差別の解消の推進のための研修を実施したことにより職員の虐待に関する意識向上と未然防止に努めました。

### 3 実施状況

#### (1) 個別支援計画の作成

サービス管理責任者が個別支援計画を作成しました。作成に当たっては、利用者及びその家族の生活に対する意向、総合的な支援の方針、サービスを提供する上での留意事項等を記載しました。また、個別支援計画は、利用者の能力、その置かれている環境、心身の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握を行い、利用者が自立した生活を営むことができるように立案しました。

また、個別支援計画の見直しを6か月に1回行いました。

#### (2) 介護・支援

介護・支援は利用者の人格に十分配慮し、個別支援計画によるサービスを念頭に行いました。また、利用者の心身の状況や障害レベルに応じて、適切な技術をもって介護・支援を行いました。

排泄の介護は、利用者の心身の状況や排泄状況などをもとに、自立支援の観点からトイレ誘導や排泄介助等について適切な方法により行いました。

( 3 ) 生産活動

生産活動の内容については、利用者の心身の状況、利用者の本人の意向・適正・障害の特性・能力などを考慮した生産活動を提供しました。また、利用者に生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払いました。

( 4 ) 機能訓練の実施

中伊豆リハビリテーションの理学療法士が来園し、その助言を基にリハビリの強化、食事・排泄などの日常生活動作の改善を行い利用者の身体機能低下を防ぎました。

( 5 ) 外出支援

新型コロナウイルスが第5類となったとはいえ外出するまでの市内感染が落ち着きませんでした。利用者のお楽しみの充実・社会参加の支援として外出の代替えとして、ケーキなどを事前に選択して食べる会を毎月実施しました。

( 6 ) 食事

食事の提供に当たっては、利用者の年齢や障害の特性に応じて適切な栄養量及び内容の食事を確保するため、管理栄養士による栄養管理を行いました。また、誤嚥予防のために必要に応じ嚥下検査を行いその結果を基に食事形態の工夫を行いました。

( 7 ) 社会生活上の便宜の供与

利用者が自らの趣味・嗜好に応じた活動を通じて充実した生活を送ることができるように支援しました。また、郵便・証明書等の交付申請等、利用者が必要とする手続きにおいて利用者又は家族が行うことが困難な場合は同意を得た上で代行しました。

( 8 ) 職員の資質向上

職員の資質向上のために、園内の研修を企画し、外部の研修には積極的に参加しました。また、研修の内容をフィードバックするために研修報告会を行いました。

( 9 ) 苦情解決

利用者又は家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置しており、本年度の苦情はありませんでした。

( 10 ) 身体拘束の禁止

利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行いませんでした。身体拘束廃止会議を年2回行いました。緊急やむを得ない場合は後見人又は家族への説明と同意書を頂いた後に実施しました。

(11) 防災対策の充実強化

消防法令に基づく設備が整備され定期的に点検を行いました。また、夜間防災訓練も含め、消火訓練・避難訓練を月1回実施しました。

(12) 虐待防止

碧の園における虐待を未然に防止するために、虐待防止に関する委員会を開催しました。また、職員に対する虐待防止の啓発・普及するための研修の実施を行い不適切な支援の防止を図りました。

(13) 新型コロナウイルス感染症について

予定されていた外出計画・ボランティアの来園・会議・職員研修などは、厚生労働省や静岡県等の指針を基にして、対応会議に各事業所管理者を交えて適宜開催した上で感染拡大防止の観点から中止又は開催できるものは感染症対策を取った上で実施いたしました。

令和3年1月初旬に併設の短期入所利用者が新型コロナウイルスに感染していたことにより施設内でのクラスターへつながった経験を踏まえまして、感染症対策専門家や関係機関の助言を受けながら日課の調整を行うことにより少しずつではありますが、利用者の生活を元に戻しつつあります。また、濃厚接触者や発熱者など近い場所に感染を疑われる関係者がいた場合は、適宜通院検査・日課変更や調整を行い、対応を行いました。

短期入所に関しては利用される前に体調不良の有無を確認した上での利用とし、日中一時支援事業に関しては施設入所者との接触を避ける形での受入れを行いました。

(14) 栄養課

利用者の心身の健康と保持増進に必要な食べ物を提供するだけでなく、食事を通じ利用者の望ましい食習慣、栄養や衛生についての知識を得られるように努めました。

ア 年間報告

(ア) 給食面

調理はあらかじめ作成された献立に従って行い、栄養価・予算・嗜好も考慮することができました。また、適温給食を心がけました。

(イ) 栄養麺について

必要に応じて囑託医の指示により、治療的食事の対応をしました。詳細については、次の表のとおりでした。

令和6年3月31日現在

食事形態	ペースト	全粥	軟飯	荒刻み	刻み	一口大	減塩食	糖尿食	ダイエット食
対象者	2名	4名	1名	2名	6名	14名	1名	1名	12名

(ウ) 衛生面

- a 給食施設、設備の整備と清潔の保持、食品・食器の取扱い、安全面に十分留意しました。
- b 給食従事者は自己の健康管理や調理時の身支度に留意しました。

イ 月間報告

- (ア) 給食従事者の検便は毎月1回と、食中毒多発期には(6月～9月)2回の合計16回行いました。
- (イ) 残菜調査は毎食ごと記録しました。

(15) 保健衛生

健康の維持増進・予防を重点に実施しました。

ア 利用者

- (ア) 嘱託医 高野医院 (毎週 水曜日)
- (イ) 健康診断 年2回(前期8月:後期3月)  
血液検査・胸部レントゲン・検尿・血圧測定
- (ウ) てんかん薬服用者は、定期の血液チェック(16名)
- (エ) 歯科検診 伊豆高原歯科  
治療の必要な利用者については 定期的に治療・経過観察実施
- (オ) 精神科医受診(順天堂大学病院附属静岡病院 桐野 衛二医師)  
随時順天堂病院にて検査・診察 月1回の受回診で  
精神薬服用者の診察及び血液チェック
- (カ) 体重測定 毎月1回(肥満・体重減少傾向については2回)  
低体重の利用者については 毎週体重測定を実施
- (キ) 血圧測定 高齢者 降圧剤服用者は毎日測定
- (ク) 通院件数

	内科	歯科	眼科	精神	婦人科	皮膚	外科	耳鼻科	整形	糖尿	脳神経	合計
5年度	678	188	38	392	12	90	35	38	50	37	40	1,609
4年度	713	70	45	259	5	101	106	32	62	35	41	1,487

イ 職員

- (ア) 健康診断 全職員対象 年1回、夜勤者年2回施行
- (イ) 検便は利用者の食事支援を行う職員に実施

ウ その他

利用者・職員ともにコロナワクチン・インフルエンザ予防接種を受けました。

#### 4 利用実績

##### (1) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
5年度利用者延人数	929	1,047	1,019	981	1,062	943	
5年度利用率(%)	92.9	91.0	92.6	93.4	92.3	89.8	
4年度利用者延人数	985	1,043	1,050	1,021	1,110	1,055	
4年度利用率(%)	93.8	94.8	95.4	97.2	96.5	95.9	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度利用者延人数	1,030	1,035	916	902	949	949	11,762
5年度利用率(%)	93.6	94.0	91.6	90.2	90.3	90.3	91.8
4年度利用者延人数	1,007	1,030	930	950	945	1,080	12,206
4年度利用率(%)	95.9	93.6	93.0	95.0	94.5	93.9	94.9

##### (2) 施設入所支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
5年度利用者延人数	1,193	1,240	1,191	1,240	1,240	1,193	
5年度利用率(%)	99.4	100.0	99.3	100.0	100.0	99.4	
4年度利用者延人数	1,156	1,209	1,192	1,240	1,240	1,190	
4年度利用率(%)	96.3	97.5	99.3	100.0	100.0	99.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度利用者延人数	1,240	1,200	1,218	1,239	1,153	1,228	14,575
5年度利用率(%)	100.0	100.0	98.2	99.9	99.3	99.0	99.5
4年度利用者延人数	1,240	1,200	1,227	1,240	1,120	1,234	14,488
4年度利用率(%)	95.9	97.5	99.3	100.0	100.0	99.5	99.2

## 第2 碧の園ショートステイ（併設型短期入所）

### 1 総括

地域・在宅生活をされている家庭の方の休息や、やむを得ない緊急時などの受入れを行い、地域生活の一役を担うための機能は果たすことができたと思われま

す。また、家族が急病となり自宅で過ごすことのできない利用者が長期のショートステイ利用になるケースがに多くなり、長期利用の方が多くなっておりま

### 2 実施状況

#### (1) 事業内容

##### ア 利用対象者

短期入所：短期入所利用決定を受けている障害児（者）

##### イ 利用定員

短期入所：7名（併設型）

##### ウ 支援内容

（ア）食事・排泄等の日常生活動作を支援しました。

（イ）日中の班活動、レクリエーション等余暇活動を支援しました。

（ウ）家族、関係各機関との連絡・調整、相談受付を行いました。

#### (2) 効果

ア 保護者の介護負担を軽減し、リフレッシュする時間を作ることができました。

イ 生活面で問題のある利用者や身寄りの無い利用者の受入れを行い、家族・関係機関との連携を図り支援を行いました。

ウ 家庭内調整を図る時間を作ることにより、利用者と保護者の精神的な安定に貢献しました。

エ 利用に関する相談を行い、利用者に関する状況の把握ができました。

オ 利用希望状況に応じた職員配置を行うことで、重度の障害の方の受入れに応じることができました。

カ 保護者体調不良時や冠婚葬祭等、緊急時の利用受入れに対応しました。

### 3 利用実績

	令和5年度		令和4年度	
	利用者延人数	利用率(%)	利用者延人数	利用率(%)
4月	155	73.8	196	93.3
5月	172	79.2	202	93.0
6月	175	83.3	155	73.8
7月	174	80.1	158	72.8
8月	197	90.7	192	88.4
9月	180	85.7	172	81.9
10月	158	72.8	218	100.4
11月	165	78.5	168	80.0
12月	164	75.5	183	84.3
1月	149	68.6	189	87.0
2月	149	73.3	171	87.2
3月	163	75.1	183	84.3
合計/平均	2,001	78.3	2,187	85.5

短期入所(併設型)利用定員7名

### 第3 碧の園ショートステイ(日中一時支援事業)

#### 1 総括

地域・在宅生活をされている家庭の方の休息や緊急時などの受入れを行い、地域生活の一役を担うための機能は果たすことができたと思われま

す。また、対応をする場所と人員の確保・費用対効果が弱いことが課題となっ

#### 2 実施状況

##### (1) 事業内容

##### ア 利用対象者

(ア)日中一時支援：碧の園と日中一時支援委託契約をしている市町(伊東市・熱海市・伊豆市・東伊豆町)に在住し、その市町の日中一時支援利用決定を受けている人

##### イ 利用定員

(ア)日中一時：なし(安全にお預かりできる範囲内)

##### ウ 支援内容

- (ア) 食事・排泄等の日常生活動作を支援しました。
- (イ) 日中の班活動、レクリエーション等、余暇活動を支援しました。
- (ウ) 家族、関係各機関との連絡・調整、相談受付を行いました。

(2) 効果

- ア 保護者の介護負担軽減やリフレッシュする時間を提供できました。
- イ 生活面で問題のある利用者や身寄りの無い利用者の受入れを行い、家族・関係機関との連携を図り支援を行いました。
- ウ 利用に関する相談を行い、利用者に関する状況の把握ができました。
- エ 利用希望状況に応じた職員配置を行うことで、重度の障害の方の受入れに応じることができました。
- オ 朝から夕食後の時間帯の利用希望に応えることで、保護者の就労の継続に貢献しました。
- カ 保護者体調不良時や冠婚葬祭等、緊急時利用受入れ対応しました。

3 利用実績

	令和5年度利用者延人数	令和4年度利用者延人数
4月	28	29
5月	25	24
6月	21	28
7月	34	35
8月	25	19
9月	27	24
10月	27	28
11月	21	29
12月	34	40
1月	22	28
2月	31	26
3月	34	24
合計	329	334

## 第4 児童発達支援センター クローバー

### 1 総括

数年来影響を及ぼしていた新型コロナウイルス感染症が5月、5類感染症に分類されたことにより、体調不良による予防的な休みの軽減、新規利用者増加の年になりました。

令和3年度に導入した、児童発達支援事業週3日、保育所等訪問支援事業週2日の営業も定着し、児童発達支援事業の利用児は、それぞれが所属先を持ち健常児と関わることでプラス変化がみられています。また、保育所等訪問支援事業の専用日を設けたことで、訪問対応可能人数も多くなり、契約数の増加につながりました。

令和5年度7月は児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業の両事業従事者の病気療養により低迷となりましたが当該職員は8月より復職。9月1日より両事業へ関われる人員が入職（非常勤）したことにより児童発達支援業の1日の対応人数、保育所等訪問支援の訪問人数も増やすことができました。

両事業ともに当センターが関わった児童の変化を評価いただき、関係機関からの紹介が増加しています。小中学校への訪問支援事業の効果も評価いただき、令和6年度は市の教育指導課より特別支援コーディネーターの依頼を受け教員や生徒の困り感の懸け橋になるよう新規活動を開始していく予定です。

まだ人員の不足は継続していますが、現職員の定着とスキルアップを図り、利用児、家族はもとより、就労先としての魅力も発信できるよう努めていきたいと考えております。

放課後等デイサービスでは、新型コロナウイルス感染症が5類に分類された後も、基本的な感染対策は継続し業務に取り組みました。しかしながら、感染症による関係機関との連携がスムーズにできておらず、インフルエンザが流行し閉所した期間がありました。

活動においては、外出や外食の機会を増やし、コロナ禍前に行っていた活動の提供が、徐々にではありませうができるようになってきました。

職員不足のため、運営規程の見直しや開所日の検討、利用の調整を行いました。その中で、保護者や併用事業所から土曜日開所を望む声がありましたが、必要人員が確保できるまでは難しいと考えています。

今年度は、見学の希望や問い合わせを多くいただきましたが、職員不足により希望通りの利用を受けることが難しい状況で、他事業所へ移られた方や併用を開始された方がいました。

## 2 実施状況

### (1) 実施事業

- |                |         |
|----------------|---------|
| ア 児童発達支援       | 定員 10 名 |
| イ 放課後等デイサービス   | 定員 10 名 |
| ウ 保育所等訪問支援     |         |
| エ 相談支援         |         |
| オ 他機関支援（専門職派遣） |         |

### (2) 事業内容

#### ア 児童発達支援

##### (ア) 対象者

伊東市及び近隣市町に住む就学前の児童発達支援利用決定を受けている児童

##### (イ) 利用時間

月～金曜日 8：30～14：30

##### (ウ) 場所

碧の園クローバー棟及びグラウンド

##### (エ) 支援内容及び効果

###### a 個別支援計画の作成

基本的に6か月ごとの見直しを行っています。計画前後には面談を行い、保護者の育児に対する不安、特性による行動に対する対応方法などをアドバイスし困りごとを解消できるよう相談対応しています。

###### b 日常生活動作訓練

個々の身体的特性や発達特性、発達年齢をふまえ、食事、着替え、排泄（トイレトレーニング含）時の介入方法をスタッフ皆で共有し介入しています。個々に対応が異なること、マンツーマン対応となるため、PDCA サイクルを職員全体で行っています。

###### c 療育

毎月1回のカンファレンスと日々の振り返りを行い、個々の療育目標や課題等について検討。目標に合わせて日々の活動内容を決定し遂行しています。

###### d 食事の提供

碧の園厨房の協力により給食の提供をしていましたが、人員不足により、昨年度9月1日より提供中止となっています。現在お弁当を持参していただいています。好きな物のみが入って

いない状況など、食育としては不十分ですが、食事の姿勢や道具の使用方法などの療育は継続できています。

e 健康管理及び医療的ケア

健康管理についてはスタッフと保護者間で連携を密にし、些細な変化についても報告、相談しながら行っています。嘱託医の訪問再開となりました。

f リハビリテーションの実施

作業療法士による評価を行っています。個々の発達を促すために、必要な要素を保育士による日常生活動作や日常活動に取り入れるとともに、必要に応じ作業療法士による個別リハビリテーションを実施しています。日々の療育にもリハビリテーションの視点を取り入れています。

g お便りの発行

発行頻度は2～3か月に1回へ変更。事業所での様子や行事等のお知らせを掲載しています。写真の掲載について保護者より同意を得ています。日々の様子が分かりやすいと好評をいただいています。

h 参観会、保護者会の実施

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後も市内の流行は継続していたため、1組ずつの参観を継続しました。

令和6年1月より集団参観、保護者参加行事を再開しました。日頃の関りや成長をみていただけたこと、保護者間の交流ができたことで皆さま喜んでいただけました。

家庭での姿と集団での姿の違いを確認していただくことは子供達のこれからの所属先を考える上で非常に必要なファクターとなります。新型コロナウイルス感染症によりこれらのできなかったこの数年の親子の不利益を痛感しました。

相談及び支援

日々、積極的にコミュニケーションを図る中で、保護者の様子や気持ちの変化を敏感に感じ必要な声かけや助言、または傾聴し育児への活力を育てていくような働きかけをしています。

j 虐待防止・身体拘束委員会の実施

虐待への基礎知識の更新し意識を高め日々の療育にあたっています。

排泄介入時などに、身体チェックを行っています。

(オ) 効果

a 多職種チーム連携

保育士・社会福祉士・作業療法士が利用児に対しそれぞれの視点から分析することができ、多角的な支援に繋がっています。

P D A Cサイクルが有効に働いています。

b 療育結果

併用先幼稚園、保育園の先生方に、通所後の利用児の変化の声をいただいています。

(カ) 反省

職員確保、事業の継続性

利用児の低年齢化、利用児童数の増加により、リスク管理や活動準備に時間がかかります。短時間のスタッフで運営しているため個々の負担は増えています。

イ 放課後等デイサービス

(ア) 対象者

伊東市及び近隣市町に住む就学中の児童

(イ) 利用時間

月曜日～金曜日…下校時間～17:30

祝日(年末年始は除く)…8:30～17:30(昼食はお弁当持参)

(ウ) 場所 碧の園クローバー棟及びグラウンド

(エ) 支援内容及び効果

a 個別支援計画の作成

基本的に6か月に1回の見直しを行いました。保護者と面談を行ない、日常生活の課題を把握し計画を立案しました。毎週職員会議を開き、長期休暇中の対応や個々のケース等について話し合いを行いました。また、事故やヒヤリハットの検証を行い支援内容の改善につなげました。

b 戸外活動

敷地内のグラウンドで、ボールや乗用玩具を使って体を動かす遊びを取り入れました。外出では、近隣周辺の散歩や公園に出掛けたり、外食の企画を計画して実施しました。夏休み中は、密を避けながら少人数交代制でプール遊びを楽しみました。

c 室内活動

キーボード演奏に合わせたリトミックや手遊び、ゲームを行いました。雨の日は簡単なお菓子作り(綿菓子やポップコーン)

をしました。集団活動を行うことによって、コミュニケーション力や協調性を育む機会を増やしました。

d 行事活動

クリスマス会は、例年よりも縮小した形となりましたが、室内の装飾や被り物で雰囲気味わってもらうことができました。サンタクロースに扮した職員がプレゼントを渡したり、お店でドーナツを選んで購入する場を作り、楽しみを提供しました。運動会は、準備をする時間が確保できず、実施できませんでした。

e 日常生活支援

食事、排泄、着替えの見守り・支援を行いました。見通しが持てるように、スケジュールボードを活用しました。家庭や学校と連携を取り合いながら、統一した支援を心掛けました。

f お便りの発行

毎月1回お便りを発行し、日々の活動の様子を写真に撮って掲載し、保護者に伝わるよう努めました。

g 放課後等デイサービス連絡会

年4回の連絡会に出席し、他事業所や学校と情報交換を行い、地域の子どもたちが抱える課題などについて、検討を重ねました。今年度は学校の移転があり、送迎方法や日課の変更があったため、今まで以上に学校との連携を密に行いました。連絡会では、学校見学や食育の研修を実施しましたが、放デイを利用する児童が通う小中学校(特別支援学校以外)との繋がりを増やしていくことが目標となっています。

h 感染症対策

新型コロナウイルス感染症が5類に分類されましたが、手洗い、消毒、換気は引き続き継続して行いました。職員は常時マスクの着用をして業務に取り組みました。利用児童の体調観察を行い、保護者と連携を取り、必要に応じて病院を受診してもらいました。

(オ) 反省

- a 利用児童に対して満足いく支援ができませんでした。また、業務の負担が大きくなっています。
- b 保護者が参加する場を持つことができませんでした。今後、自由見学等の機会を検討していきます。

## ウ 保育所等訪問支援

### (ア) 対象者

伊東市及び近隣市町に住む保育所等に通う保育所等訪問支援利用  
決定を受けている障害児または障害が疑われる児童

### (イ) 利用時間

月曜日～金曜日・・・8:30～17:30

### (ウ) 場所

訪問先施設（幼稚園・保育園・小中高等学校等）

### (エ) 支援内容及び効果

#### a 個別訪問による評価

利用児の通う園や学校での活動時間に合わせ訪問します。担任及び担当教員と課題を確認後、活動の様子を見学します。児の現れを分析し、先生方と共に、課題に対し必要な支援や配慮点、クラス運営内での直接的な関わり方や活動への参加方法等を検討します。

#### b 個別支援計画の作成

利用者及び保護者の方の要望やその児が通う施設の関係者と共に、抱える課題やその解決方法の検討を行うための計画を立案します。

### (オ) 効果

- a 発達やその他の問題を抱える園児や児童の理解が深まり、先生の対応に変化が表れます。
- b 理解と対応が変化することで子供を取り巻く環境が変わり、子供自身の適応力が変化していきます。
- c 保護者や先生の「育てたいこと」を共有し、目標設定を行いながら両者のエンパワーメントを支援しています。
- d 事業が徐々に関係機関に周知されてきています。
- e 契約数増加しています。
- f 訪問日を作ったことで支援できる機会が増え、関係機関との関係が深まっています。

### (カ) 反省

訪問契約件数が増加しています。9月より人員が増えましたが非常勤であり十分とは言えない状況が継続しています。

## エ 相談支援

### (ア) 対象者

伊東市及び近隣市町に住む児童・保護者

(イ) 利用時間

月曜日～金曜日・・・8:30～17:30

(ウ) 場所

児童発達支援センター クローバー

(エ) 方法

電話及び来所

(オ) 支援内容及び効果

年間相談数 5 件

オ 他機関支援（専門職派遣）

他機関より作業療法士派遣の委託依頼を受託し派遣を行っています。

(ア) 派遣先

伊東市子育て支援課 療育教室 （30回/年）

東伊豆町健康づくり課 療育教室 （6回/年）

東部特別支援学校分校への支援は施設転居により今年度は中止

(イ) 効果

a 専門職を派遣することで、児童発達支援事業や保育所等訪問支援事業の利用に繋がっています。

b 療育に多職種がかかわることの有効性が評価されています。

c 実績が評価され新規事業依頼に繋がりました。

3 クローバー利用実績

(1) 児童発達支援

	令和4年度		令和5年度	
	利用者延人数	利用率(%)	利用者延人数	利用率(%)
4月	49	40.0	70	54.0
5月	51	46.0	68	48.5
6月	73	52.0	61	50.8
7月	64	53.3	54	41.5
8月	52	43.3	69	53.0
9月	63	52.5	71	59.0
10月	74	56.0	79	56.0
11月	65	54.0	77	64.1
12月	70	50.0	80	61.5
1月	65	50.0	98	70.0
2月	60	50.0	85	71.0
3月	105	52.0	99	82.5
合計/平均	763	50.2	991	59.3

( 2 ) 放課後等デイサービス

	令和4年度		令和5年度	
	利用者延人数	利用率(%)	利用者延人数	利用率(%)
4月	204	78.4	216	86.4
5月	223	85.7	253	93.7
6月	229	88.0	259	99.6
7月	214	82.3	250	113.6
8月	217	80.3	211	105.5
9月	222	84.6	231	111.0
10月	208	80.0	186	84.5
11月	224	86.1	228	103.0
12月	206	98.0	206	103.0
1月	194	88.1	210	105.0
2月	215	97.7	224	106.0
3月	233	97.0	176	83.8
合計/平均	2,598	87.1	2,650	99.5

( 3 ) 保育所等訪問支援(利用者延人数)

	令和4年度	令和5年度
4月	5	14
5月	10	13
6月	15	19
7月	9	0
8月	3	2
9月	7	14
10月	9	11
11月	6	14
12月	8	11
1月	1	6
2月	13	10
3月	4	9
合計	90	123

## 第5 伊東市重度障害者デイサービスセンターひだまり

### 1 生活介護事業

#### (1) 総括

ひだまりでは昨年5月からのコロナ感染症5類以降も、感染症対策はほぼ継続した対応し、ご家庭との連携の基に事業所内での感染は発症せず、年間をとおして安定した健康の維持ができました。登録者21名のスタートで延べ利用人数は4,280名(1日平均16.7名)で前年比101%となりました。重点目標として挙げた個々の意志決定支援に関しては、意志の形成や表出が難しい方達が多く、積極的な支援までは届きませんが、利用者へのより身近な支援者として利用者の思いを共有し肯定的に向き合うことで、より生活がし易い状況を創りました。それによりゆっくりではありますが、個々の成長が感じられました。

#### (2) 取組と成果

- ア 個別支援計画はご家庭へのアンケート実施やケア会議で出された課題に対し、ケアプラン、モニタリングを行いました。体重減や運動量の確保等の生活習慣面の改善に至るまでは、成果が出にくい項目もありますが、ご家庭と事業所間の現状と課題について確認できました。
- イ 健康管理は日々のバイタル測定、体重測定、感染症予防対策はもちろん、月1回の医師との健康相談や歯科衛生士による口腔ケア相談を行い、健康の維持に繋がっております。
- ウ 1年間、利用者の大きな事故もなく、散歩や室内歩行等の身体運動を中心にして体力アップを目指しました。日々のラジオ体操も、誘導や見本を示すことで動作の広がりが出て、活力の向上に繋がっています。
- エ 作業に関しては地域の方々のご協力を得て、リサイクル品回収の増量、タオルや古シーツのご寄付も増え、雑巾縫いや清拭布作り等の作業を行っています。個々の工賃向上にも繋がっています。多肉植物の植栽にも取り組みました。
- オ マスク着用に関しては難しい方も多く、買い物や乗り物体験等は避け、感染防止を第一と考え、外出先は人混みの少ない外出としました。今後は体験を重視し、外部との接触も図りたいと考えます。

カ 感染症対策としてのマニュアルと事業継続計画、自然災害の事業継続計画を作成しました。また、福祉避難所としての指定は受けていませんが、緊急時の対策として備品や食料品の購入を順次行っています。

キ 虐待防止、身体拘束検討委員会及び研修会を行いました。

### (3) 実施状況

#### ア 外出活動

実施日	目的地	内容	参加人数
4.3	お花見	体験	17
5.25	いちご狩り1班	体験	9
5.26	いちご狩り2班	体験	9
11.6	伊豆シャボテン動物公園1班	体験	5
11.9	伊豆シャボテン動物公園2班	体験	5
11.17	伊豆シャボテン動物公園3班	体験	5
11.22	伊豆シャボテン動物公園4班	体験	5
1.8	神祇大社、池神社、荻神社	初詣	19
3.18	六仙の里ピクニック	体験	18
3.31	さくらの里お花見	散策	10

#### イ 行事

実施日	内容	参加者数			
		利用者	家族	職員	その他
7.31	ひだまり夏祭り	18	0	12	0
9.3	伊東市ふれあい広場	0	0	2	0
10.13	秋のピクニック(小室山)	16	0	14	0
10.31	ハロウィン	18	0	12	0
11.11	ひだまり秋祭り	17	7	14	0
12.22	忘年会・クリスマス会	18	0	14	0
1.4	書初め	16	0	14	0
1.15	成人を祝う会	17	2	14	0
2.2	節分(豆まき)	14	0	13	0
3.26	小室みんなでフェス	8	0	2	0

(3) 地域交流活動

実施日	内 容	参加利用者数
12.5	障害者週間作業作品配布 (リサイクル品回収コース)	17

4 利用状況

令和	利用延人数及び利用率				開所日数		平均利用者数 / 日	
	4年度 人数	利用率	5年度 人数	利用率	4年度	5年度	4年度	5年度
4月	335	79.8	333	83.3	21	20	15.9	16.6
5月	366	83.2	394	85.7	22	23	16.6	17.1
6月	369	83.9	381	86.5	22	22	16.7	17.3
7月	349	83.1	355	84.5	21	21	16.6	16.9
8月	354	77.0	375	81.5	23	23	15.3	16.3
9月	353	80.2	357	85.0	22	21	16.0	17.0
10月	355	84.5	382	86.8	21	22	16.9	17.3
11月	378	85.9	371	84.3	22	22	17.1	16.8
12月	327	86.1	308	81.0	19	19	17.2	16.2
1月	315	78.8	342	85.5	20	20	15.7	17.1
2月	323	80.8	339	80.7	20	21	16.1	16.1
3月	393	85.4	343	81.6	23	21	17.0	16.3
計	4,217	82.4	4,280	83.8	256	255	16.4	16.7

## 2 日中一時支援事業

### (1) 総括

令和3年1月、ひだまりと碧の園はコロナ感染症による集団感染を経験しました。事業所間の移動を極力抑え感染予防を図るために、令和4年4月よりひだまり日中一時がスタートしました。重い障害のある方の環境変化への対応は困難で、時間で事業所間移動することは大きなストレスをもたらします。

利用者数から見れば少人数ではありますが、そのような人達の居場所として、また家族の就労継続や緊急時にお預かりできる空間として、在宅の障害者にとっては重要な場所になっています。そして、碧の園短期入所の定員が一杯である時に過ごせる機能も果たしました。

### (2) 利用状況

	令和4年度利用人数	令和5年度利用人数
4月	89	70
5月	95	71
6月	108	71
7月	89	63
8月	37	74
9月	64	70
10月	78	85
11月	90	73
12月	75	59
1月	71	58
2月	58	67
3月	75	73
年度合計人数	929	834

## 第6 伊東市児童・身体障害者福祉センターはばたき

### 1 伊東市障害者デイサービス

#### (1) 総括

デイサービスでは、在宅における知的、精神、身体の方の自立と生活の質の向上を目指し、創作活動を通してやる気や自信を持てるよう支援し、身体的機能維持向上のためリハビリ訓練、余暇活動の提供や利用者とその家族の相談業務の充実を図り、生活の質の向上を目指し支援しました。

コロナウイルス感染予防のため、創作活動の講師やボランティアの交流は控えさせていただきました。そのため、創作活動については職員が色々な題材等を用意し提供しました。

#### (2) 実施状況

##### ア 研修・ボランティア等受入状況

月日	種別	団体名等	人員	活動内容
5月15日	体験利用	武藏様	1	体験利用
6月28日~30日	分校実習生	井上様	1	実習利用
7月25日	体験利用	木部様	1	体験利用
10月4日5日・11日12日	分校実習生	石井様	1	実習利用

##### イ 創作活動報告

###### (ア) 音楽活動

a 基本項目 年間実施回数 17回 講師来所回数 0回

###### b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	63	42	105	リズム遊び、ハンドベルなど
令和4年度	92	48	140	リズムスティック、ハンドベルなど

###### c 本年度の総括

ハンドベルを中心に「きらきら星、赤鼻のトナカイなど」を練習し演奏できるようになりました。楽器を奏でリズムにのって楽しく活動ができました。

###### d 次年度への課題

ハンドベルを中心に、いろいろな曲や音楽を楽しめるよう支援を行います。

(イ) 絵画

a 基本項目 年間実施回数 23回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	71	59	130	季節の果物や花など
令和4年度	73	54	127	季節の果物、風景画など

c 本年度の総括

季節の果物や花を描きました。伊東市芸術祭やはばたき芸術祭へ出展、展示を行い家族の方に日頃の活動成果を観ていただくことができました。

d 次年度への課題

いろいろな題材を紹介し、個々の感性を広げ、自己表現の場を提供したいと思います。ひきつづき芸術祭へ出展を通し社会との関わりを持てるよう支援を行います。

(ウ) 紙工作

a 基本項目 年間実施回数 43回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	138	109	247	みんなのお祭り、ハロウィンなど
令和4年度	135	106	241	天の川、おばけ、卒業など

c 本年度の総括

伊東市芸術祭に出展する作品作りは、皆さんで意見を出し合い協力して「みんなのお祭り」という大作を作りました。また、はばたき芸術祭に展示し家族の方にも見ていただき喜んでいただきました。

d 次年度への課題

季節に合わせたテーマを、皆さんと意見を出し合い協力し紙工作を楽しみながら行います。また、はばたき芸術祭も開催し家族や地域の方にも見て頂く場を設けて行きます。

(エ) 陶芸

a 基本項目 年間実施回数 39回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	140	103	243	来年の干支、海の生物等
令和4年度	35	57	92	来年の干支、お花づくり等

c 本年度の総括

伊東市芸術祭に向け「伊豆の海中」を題材にした作品制作を行いました。参加者全員で協力し石粉粘土で模型を作り、色塗り、ニス塗りを行いました。伊東市芸術祭、はばたき芸術祭に展示を行い家族や地域の方に見ていただくことができました。

d 次年度への課題

引き続き、個々の感性を活かした作品作りを支援していきます。展示会への出展を行い、他者と協力をする事で協調性を養い、作る事の喜びや達成感を感じていただけるよう支援していきます。

(オ) 華道

a 基本項目 年間実施回数 12回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	12	22	34	ガーベラ、スプレーカーネーションなど
令和4年度	11	23	34	カーネーション、スターチスなど

c 本年度の総括

講師の方が見えられていないため、花卉ではなく、月に1度オアシスに季節の花々を自分の個性を生かし楽しく生けることができました。また、怪我無く楽しく行うことができました。

d 次年度への課題

季節の花々に触れ個々の感性を活かし、また生ける物を変える事により変化を楽しみながら怪我のないように十分な配慮をしていきます。

講師の方が見えられた際には、先生の助言のもと、個性を生かすことのできる作品作りに心掛けていきます。

(カ) 料理

a 基本項目 年間実施回数 0回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	0	0	0	
令和4年度	0	0	0	

c 本年度の総括

感染予防のため、中止となっています。

d 次年度への課題

おやつ作りが再開した際には、衛生面・怪我・事故の無いように配慮していきます。また、色々なメニューにも挑戦していきます。

(キ) レクリエーション・スポーツ

a 基本項目 年間実施回数 50回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	132	231	363	ゲーム、ボッチャ、手工芸など
令和4年度	189	158	347	トイレットペーパー送りなど

c 本年度の総括

利用者が楽しく参加していただけるよう、担当職員が考案したゲームやボッチャ、手工芸(作品作り)などの提供を行いました。利用者同士がコミュニケーションをとりながら行えるよう支援を行い楽しく活動ができました。

d 次年度への課題

ゲームや創作活動を提供し、利用者同士が協力し楽しく参加していただけるよう支援していきます。

(ク) 手工芸

a 基本項目 年間実施回数 32回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	141	135	276	こいのぼり、うちわなど
令和4年度	194	98	292	春のつるし飾り、クリスマスツリーなど

c 本年度の総括

季節に合わせた作品を、個性を生かし作ることができました。

また、はばたき館内で行った芸術祭や伊東市主催のふれあい広場にも出展し、家族の方や来場客など幅広く作品を見ていただきま

した。

d 次年度への課題

季節を感じる作品を個々の個性を生かし楽しく作品作りができるように支援します。

(ケ) 所外活動(外出訓練)

a 基本項目 年間実施回数 0回 講師来所回数 0回

b 活動記録

	男性	女性	参加者	創作活動内容
令和5年度	0	0	0	
令和4年度	0	0	0	

c 本年度の総括

コロナウイルス感染拡大のため、外出することができませんでした。

d 次年度への課題

外出することができる際には、事故等に気を付けて楽しく外出活動を行います。皆さんの希望を聞きながら計画していきます。

ウ 行事等実施報告

(ア) 行事実施記録

行事名	月 日	男性	女性	参加者
デリバリー	4月17日、9月20日、10月19日、1月19日	21	23	44
アロマ週間	7月24日～28日、8月14日～18日、9月25日～29日	54	61	115
アイス週間	1日～4日、7日	18	19	37
半日遠足	11月10日、15日、21日	9	11	20
ケーキ作り	10月25日～31日	19	21	40
クリスマス会	12月15日、20日	9	7	16
初詣週間	1月4日、5日、9日、10日、15日	12	10	22
節分週間	1月29日～2月2日	19	21	40
いちごフェア	2月5日～9日	19	19	38
ひな祭り週間	2月26日～3月1日	21	19	40
全館防災訓練	5月15日、11月1日	8	7	15
	合計	209	218	427

(イ) 本年度の総括

初詣、半日遠足と短い時間でしたが外出を行いました。利用者の皆様にも楽しんで頂けました。他の行事も室内装飾や衣装など細部にまでこだわり、利用者の皆様に楽しんでいただけるような企画をしました。

(ウ) 次年度への課題

感染予防をしながら、外出の行事も行っていききたいと思います。行事への参加者が増えるよう楽しい企画を考えて行きます。

エ 医務的処遇報告

(ア) 健康管理

バイタルサイン測定(体温、血圧、脈、SpO<sub>2</sub>など)送迎乗車前に体温測定を行い、到着時、昼食後、リハビリ前、入浴前にバイタルチェックを行い、血圧上昇時や発熱、頭痛、気分不快などの自覚症状が認められた場合には、再度バイタルチェックを実施しています。食欲の有無や睡眠、排尿排便の有無、顔色や活動状態なども十分観察をしました。また、脱水予防としては、水分補給を促し、利用者の健康状態の変化についても常に注意を払うようにしました。

毎回連絡帳には、バイタルの測定値を記入し、本人と家族に健康状態を把握していただくようにしました。また、家族からの情報をもとにデイサービスでの対応に役立てるように配慮しました。(家庭での体温チェック表)

血圧高値の時は、入浴やリハビリは控えていただいたり、皮膚疾患がある場合は浴槽につからずシャワー浴に変更したり、状況に応じた対応を行いました。また、発熱(体温が37.5以上)がある場合、家族のいる方には早急に電話連絡し、可能な限り迎えに来ていただき受診を勧めました。

(イ) 口腔機能向上(口腔ケア、摂食、嚥下機能訓練)

虫歯や歯周病予防、誤嚥性肺炎の予防のためにも、食後の歯磨き、うがいを促しました。また、嚥下機能の維持及び誤嚥予防のため、昼食の前に嚥下体操を行いました。

(ウ) 健康相談

病気に関する質問や処置に関する方法について助言指導を行いました。

(エ) 体重測定

毎月1回測定を行いました。結果については連絡帳に記入を行い、現在の状況把握と各自の健康維持の参考にさせていただきました。また、急激な変動に対しては助言指導、各関係機関に連絡をしました。

(オ) 感染予防対策

感染対策として、利用者、職員への衛生的手洗いの指導と咳エチケットでマスク装着や手指消毒液の利用を促しました。

インフルエンザ・新型コロナウイルスについては、本人や家族がインフルエンザ・新型コロナウイルスにかかった時の対応を法人で統一した文書を作成し、家庭に配布、説明しました。利用前に発熱等の体調不良があった場合は、無理をせず休んでいただき受診を勧めました。

(カ) 服薬管理

利用者の内服薬を確認し、昼食時与薬する場合は、利用者に渡して、与薬していただきました。また、お薬手帳や処方せんを定期的を確認し、各利用者の薬物療法の必要性を理解し、常に把握するように努めました。

(キ) 医療的ケア

a 処置(爪切り)

爪切りができない利用者への爪切りを指導するとともに、入浴後や希望時に実施しました。

b 処置(皮膚疾患)

皮膚疾患においては、主治医処方持参薬を塗布しました。患部の疼痛に対しては、状況を観察して持参の湿布薬や塗り薬などにて対応し、状態に応じて医療機関に受診を促しました。擦過傷等の時は消毒後カットバン又はガーゼにて保護処置を行いました。

c 緊急時の対応

基礎疾患のある利用者の緊急時対応で、主治医と確認しご本人や家族が安心して利用できるよう、文書にてお渡ししました。

d 嘱託医による対応

今年度も「セカンドオピニオン」という立場から許田医院の許田医師に月一回の健康相談や、デイサービスとしてできる範囲内の医療処置をしていただきました。また、職員に対しては健康診断、インフルエンザの予防接種、医療的指導、各相談に応じていただきました。

オ 機能訓練について

月、水、金曜日に機能訓練士によるリハビリを行いました。また、月に一度、理学療法士を招き、利用者と職員に対しご指導ご助言を頂き身体機能維持、向上を行いました。機能訓練士不在時には、自主リハビリの見守りを支援員が行いました。

(3) 利用実績

ア 利用登録者の推移

(ア) 本年度の利用状況

a 利用実績部門

月	新規	登録 抹消	登録 者数	事業 日数	月間延 数	欠席 者数	出席率 (%)	1日 平均
4	1	1	25	20	168	22	88.4	8.4
5	0	0	25	20	171	20	89.5	8.6
6	1	0	26	22	165	55	75.0	7.5
7	0	1	25	20	165	34	82.9	8.3
8	0	0	25	22	170	46	78.7	7.7
9	1	1	25	19	146	39	78.9	7.7
10	0	0	25	21	176	30	85.4	8.4
11	0	0	25	20	153	39	79.7	7.7
12	0	0	25	19	146	43	77.2	7.7
1	0	0	25	19	148	36	80.4	7.8
2	0	1	24	19	149	34	81.4	7.8
3	0	0	24	20	173	24	87.8	8.7
年間	計	計	現在	合計	合計	合計	年平均	年平均
	3	4	24	241	1,930	422	82.1	8.0
男性	1	2	15					
女性	2	2	9					

b 利用登録部門

利用記録部門	男性	女性	合計	
累計登録者数	113	95	208	開設以来の登録実績
現在登録者数	16	9	25	令和6年3月31日現在
本年度登録抹消者数	1	2	3	施設入所のため等
本年度利用者数	14	9	23	1回以上の利用した方
自主通所者数	2	0	2	自己手段による通所の方
本年度完全休止者数	2	1	3	今年度1度も利用のない方
年間延べ利用者数	981	949	1,930	年間利用者総数
年間出席率	82.0% (出席者1,930名・欠席422名)			

c サービス提供部門

サービス提供部門	算出データ			
年間食事提供実績	食事受給者数(今年度食事サービスを受けた方) 〔受給者数〕23名(男性14名・女性9名)			
	総提供食数1,853食 (常食1,572食・刻み食281食・ペースト食0食)			
年間送迎実績	総運行回数(大ワゴン車470回、ワゴン車469回、 車イス車両130回) 総利用人数(大ワゴン車1,693名、ワゴン車1,448 名、車イス車両161名)			
年間入浴サービス実績	令和6年3月31日現在			
年間延べ利用者数	利用形態	対象 者数	延べ 人数	今年度1回以上入浴された 方(登録抹消者 を含む。) 合計14名
男性 504名				
女性 427名				
合計 931名				
1日平均3.9名	一般浴自立	1	93	
1日当たり	一般浴半介助	6	545	
最大6人最小0名	一般浴全介助	1	61	
	機械浴	5	232	
機能訓練実績	機能訓練士指導総数件 925件 男性:605件 女性:320件			
	自主訓練総数 316件			

(イ) 利用者の基本状況

a 障害等級分布 (令和6年3月31日現在)

	男性	女性	合計
身体1級	4	1	5
身体2級	3	1	4
療育手帳A	5	7	12
療育手帳B	2	0	2
精神手帳1級	1	0	1
精神手帳2級	0	0	0
なし	0	0	0
合計	15	9	24

上記に加えて、重複して所持している方

	男性	女性	合計
療育手帳A	1	1	2
療育手帳B	1	0	1

b 移動形態分布 (令和6年3月31日現在)

移動形態	男性	女性	合計
(車椅子常用者) 移動の際に必ず車椅子の方	5	0	5
(車椅子併用者) 室内等では歩行移動も可能な方	1	0	1
(歩行介助者) 車椅子ではなく介助が必要な方	1	0	1
(装具使用者) 歩行できるが装具等が必要な方	1	3	4
(自立歩行者) 歩行レベルが高く自立域の方	7	6	13
合計	15	9	24

c 身体状況分布 (令和6年3月31日現在)

障害状況	男性	女性	合計
両下肢機能障害	1	0	1
言語障害	1	0	1
両聴覚障害	1	0	1
両上下肢機能障害	2	1	3
知的障害	8	8	16
右上下肢機能障害	0	1	1
肢体不自由	1	0	1
運動器不安症	1	0	1
両下肢肢体不自由	0	0	0
ADL低下・嚥下機能低下	1	0	1

心臓機能障害・アイゼンメンガー症候群	2	0	2
右下肢三頭筋亢進・右足関節背屈制限	0	1	1
高次脳機能障害	1	0	1
左上下肢機能障害	2	0	2
右眼眼圧異常	1	0	1
腎臓機能障害	1	0	1
両内耳性難聴	0	1	1
ひきこもり	1	0	1
合計	23	13	36

重複して障害を持つ方も含みます。

d 障害要因疾病分布（令和6年3月31日現在）

要因疾病	男性	女性	合計
脳血管障害	1	1	2
ダウン症	0	3	3
脳性麻痺	1	1	2
頭部外傷	1	0	1
知的障害	6	2	8
統合失調症	2	0	2
精神発達遅滞	0	1	1
巨細胞封入症	0	0	0
慢性腎不全	1	0	1
変容性骨異形成症	1	0	1
筋ジストロフィー	1	0	1
ファロー四徴症心室中隔欠損	1	0	1
左被殻出血	0	1	1
合計	15	9	24

e 利用者居住地分布（令和6年3月31日現在）

居住地区	男性	女性	合計
松原	3	0	3
宇佐美	4	2	6
萩	0	2	2
十足	3	0	3
富戸	1	2	3

湯川	1	0	1
吉田	1	1	2
竹の内	1	1	2
玖須美元和田	0	1	1
岡広町	0	1	1
竹の台	1	0	1
合計	15	9	24

f 年齢分布（令和6年3月31日現在）

年齢範囲	男性	女性	合計
18歳未満	0	0	0
18歳～19歳	0	0	0
20歳～29歳	1	3	4
30歳～39歳	4	1	5
40歳～49歳	1	2	3
50歳～59歳	6	2	8
60歳～65歳	3	1	4
合計	15	9	24

平均年齢：44.5歳 男性：42.9歳 女性：41.3歳

## 2 伊東市児童・身体障害者福祉センターはばたき

### (1) 総括

感染症の予防対策として、消毒や、換気（窓開け）を引き続き実施しており、感染拡大防止に努めています。

設備面においては、市の予算において令和3年度から実施している照明設備のLED化、老朽化した空調設備も新規の機材へ入れ替えました。空調設備の交換により夏場の電気代節約にもつながりました。

### (2) 実施状況

#### ア 次年度への課題

新型コロナウイルス対応については、利用者が安心安全に利用できる感染対策を継続しつつ、感染法上の5類移行後は市福祉課の指導に従って対策を見直し、利用者の負担を軽減していきます。

照明設備のLED化推進、未実施の空調設備の改善については、市の実施計画が具体化しているので、令和6年度の計画とおり実施できるよう市・施工業者に協力します。

## (3) 利用実績

区分		令和4年度		令和5年度	
利用回数・人員		回	人	回	人
1階 遊戯室	福祉活動	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0
2階 図書室	福祉活動	6	32	5	20
	会議研修	5	35	0	0
	その他	53	286	59	260
	小計	64	353	64	280
2階 訓練室	福祉活動	12	86	23	161
	会議研修	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	小計	12	86	23	161
3階 集会室	福祉活動	99	1169	102	1240
	会議研修	92	865	97	1023
	その他	229	2557	255	2768
	小計	420	4591	454	5031
3階 調理室	調理実習	13	114	19	122
	小計	13	114	19	122
3階 視聴覚 室	福祉活動	55	554	36	221
	会議研修	129	1307	86	844
	その他	232	1565	233	1675
	小計	416	3426	355	2641
3階 録音室	福祉活動	5	13	17	63
	会議研修	84	296	37	100
	その他	20	124	21	94
	小計	109	433	75	257
合計	福祉活動	177	1854	183	1705
	会議研修	310	2503	220	1967
	調理実習	13	114	19	122
	その他	534	4532	568	4797
	計	1034	9003	990	8591

### 3 伊東市児童館

#### (1) 総括

コロナウイルス感染症の5類移行後もすべての行事や教室について、予防の工夫をしながら実施の方向で準備を進めてきました。

昨年に引き続き、最も大きな行事の児童館フェスタは、中央児童館と玖須美児童館で別々に開催して来館者を分散させたり、共同で行うゲームを控えたりして密を避けながら実施しました。さらに各教室は、広い部屋の使用、換気や消毒、個別に材料や用具を使用するなど配慮しながら実施しました。

未就園児が減少する中で、玖須美児童館では近隣の保育園と連携し、お遊び会に参加してもらい、一般の乳幼児との交流を深めました。

比較的利用頻度の高い中央児童館では、各部屋の入場者数を常に把握し、換気や消毒をこまめにしながら、感染防止に力を注いできました。

幼稚園や小学校が統廃合されるなど少子化が進む中、子供たちの健全育成と保護者の交流・情報提供の場を今後も続けていきます。

#### (2) 中央児童館実施状況

##### ア 月行事

月	内 容	参加人数	月	内 容	参加人数
5	わくわく2 days	105	12	お飾り作り(予約制)	14
8	料理教室	中止	12	書初め教室(予約制)	11
8	習字教室(予約制)	10	1	新春おみくじで運試し	43
10	ハロウィンちょこっとゲーム	69	3	お楽しみ会	19
12	ハッピークリスマス週間 サンタさんはどこ?ゲーム	85			
年間計					356

##### (ア) 本年度の取り組み

児童館フェスタは、本年度もゴールデンウィーク中にわくわく2 days として2日間に分散して実施しました。他の行事に関しても、密を避ける・日数を増やして分散する・内容を変更するなどして、コロナ禍でも子供たちが楽しめるよう工夫して実施しました。

外部から講師を迎える行事に関しては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したので、飲食を伴わない習字教室を再開しました。

(イ) 次年度への課題

社会が with コロナの生活様式になりつつある中、安全安心を心がけながら、子供たちが楽しい時間を過ごせる行事を提供していきたいと思えます。

イ 折り紙教室 (第4土曜日)

月	内 容	参加人数
4	端午の節句 こいのぼりとお家型 BOX	2
5	ミニギフトカード(イチゴを折る)	4
6	七夕飾り ミッキー型ぬき	18
7	(休み)	
8	紙ひこうき	5
9	ピラミッド型ポプリ入れ	0
10	(休み)	
11	サンタ付きミニメッセージカード	3
12	お飾り教室	14
1	干支を折ろう	4
2	箱収納型おひなさま	20
3	ちいかわポップアップ	18
年間計		88

(ア) 本年度の取り組み

持ち帰って飾りやすいような工夫をしました。折り紙好きの小学生・幼児親子の参加があり、熱心に取り組んでいました。

(イ) 次年度への課題

親子の参加が増えてきたので、引き続き広い部屋で開催します。また、折り紙を通して達成感や満足感が得られるよう工夫していきます。

ウ あそぼうよ! (第1土曜日)

月	内 容	参加人数
4	じゃんけんあそび	3
5	卓球をやってみよう	2
6	スライムを作ろう	6
7	ミニブーメランをとばそう	5
9	シャボン玉であそぼう	4
10	なわとびであそぼう	0
11	風船バレーであそぼう	4
12	カードゲームであそぼう	4

1	お正月遊びをしよう	2
2	昔からのあそびをしよう	2
3	昔からのゲームあそびをしよう	0
年間計		32

(ア) 本年度の取り組み

本年度から小学生を対象とし、簡単な遊びや伝承遊び等を紹介し、遊びの幅が広がっていくように企画しました。

(イ) 次年度への課題

本年度からの教室なので、一人でも参加できて楽しめる遊びを提供していきます。また、幼児へのバースデーカードプレゼントは、継続していきます。

エ ハンドメイド(第2土曜日)

月	内 容	参加人数
4	傘袋ポケット	2
5	母の日 花束カード	6
6	スタンドグラス風しおり	0
7	涼しげなフラワーポット	8
8	(休み)	
9	紙コップの UFO キャッチャー	0
10	紙コップ工作 カボチャの小物入れ	5
11	クリスマスリース	10
12	お飾り教室 お飾り用しめ縄(予約制)	14
1	小さな飾りかご	0
2	牛乳カップの竹とんぼ	2
3	小さな飾りかご	9
年間計		56

(ア) 本年度の取り組み

昨年度より参加人数はだいぶ増え、参加する子供たちは当日教室に参加する目的で来館し、作品を作り上げる楽しさを十分に味わっていました。

(イ) 次年度への課題

引き続き感染症対策を行いながら、安心安全に「作る喜び」や「遊ぶ楽しさ」を味わえるような題材選びや環境を工夫していきます。

オ 来館者人数

月	来館者人数	月	来館者人数
4	531	10	516
5	469	11	485
6	433	12	542
7	539	1	434
8	736	2	617
9	613	3	729
年間計			6,644

(3) 玖須美児童館実施状況

ア 季節行事

月	内 容	参加人数
4	わくわく 1 day(午前・午後)	37
7	縁日ごっこ	59
12	クリスマス会	23
1	新春お楽しみ週間	33
3	お楽しみ会	24
年間計		176

(ア) 本年度の取り組み

児童館フェスタは、わくわく 1 day(午前・午後の部)として開催したり、集会でを行うものと週間で行うものなど行事の持ち方や内容を工夫したりして楽しめるようにしました。

(イ) 次年度への課題

内容を考慮しながら引き続き行います。ポスターの掲示、新聞掲載、子供たちへの声かけ等周知に努めます。

イ 幼児の作ろう・遊ぼう

月	内 容	参加人数
5	手遊び・触れ合い遊び	6
6	手遊び・生け花	10
9	体を動かして遊ぼう(リトミック)	18
11	クリスマス飾り作り(ハーバリウム)	14
12	お話会	7
1	くるくるたこ作り	7
2	毛糸で作ろう	7

3	まねっこ遊びをしよう (リトミック)	10
年間計		79

(ア) 本年度の取り組み

子供の減少や1～2歳児から就園する子が増えているため、参加人数が減っていますが、作ろう・遊ぼうの週間の中で、幼児が参加しやすい工夫をしました。

(イ) 次年度への課題

引き続き、参加しやすい日程や内容の工夫をし、近隣の保育園も無理なく参加できるようにします。

ウ 作ろう・遊ぼう

月	内 容	参加人数
4	よく飛ぶジャイロとランチャーを作ろう	6
5	くるくるレインボーを作ろう	14
6	生け花	13
7	七夕週間	25
8	絵を描こう週間	24
9	卓球大会	9
10	ハロウィン週間	46
11	クリスマス飾り作り (ハーバリウム)	18
12	お飾り作り	7
1	くるくるたこ	11
2	毛糸で作ろう (ミニバスケット作り)	7
3	メモメモスタンド	19
年間計		199

(ア) 本年度の取り組み

一部の行事を週間にする事で、より多くの子供たちが参加できるようにしました。

(イ) 次年度への課題

引き続き、子供たちの状況をふまえ、参加しやすい日程や内容の工夫をします。

作品の展示、ポスターの掲示、声かけなどの周知も積極的に行います。

エ Let's Enjoy!

月	内 容	参加人数
4	イースターエッグ	19
6	セダムのポット	11
8	すいかわりをしよう!	13
10	Halloween! コスチューム	14
12	クリスマス アドベントカレンダー	13
2	バレンタイン	10
年間計		80

(ア) 本年度の取り組み

楽しい外国と日本のイベントに簡単な英語の会話や表現をつかったゲームをしました。

(イ) 次年度への課題

ゲームを通して、引き続き簡単な英会話を取り入れた子供たちの関心のある楽しい内容を考えていきます。

オ 来館者人数

月	来館者人数	月	来館者人数
4	309	10	213
5	237	11	185
6	231	12	204
7	270	1	164
8	197	2	135
9	166	3	254
年間計			2,565

令和5年度

さくらグループ拠点区分

事業報告書

## 第1 さくらグループ（共同生活援助事業）

### 1 総括

利用者の高齢化に伴い加齢による心身の機能低下や、持病治療の疾病対策等の健康管理を重点的課題とし令和5年度も支援を行いました。世話人や生活支援員による日常生活全般に関するサービス提供を行い、地域社会において、安全で安心できる暮らしへの配慮を行っています。

今年度は新たに常勤支援員2名が配属となり、各ホームへの訪問巡回を強化でき、今まで以上に利用者の状況把握に努めることができました。

引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながらの生活環境でしたが、食事面において希望メニュー、デリバリー等の利用や、個別での対応をできる範囲で実施しました。また、感染者が発生した状況により昼間の通所先に行くことができない日は、グループホームにおいて日中支援の職員体制を整え、サービス提供を実施しました。

令和5年5月に5名、9月に9名の方が新型コロナウイルス感染症に罹患し、感染症拡大防止対策の対応を行いました。

### 2 実施状況

#### (1) 内容と効果

##### ア 安心した生活のための対応

(ア) 感染防止対策のもと、楽しく生活できるよう個人の趣味嗜好を重視した支援を心掛け、ストレスの軽減や精神面の安定を図りました。

(イ) 手洗い、消毒、うがい、定期換気等の感染症予防対策を実施しました。

##### イ 健康の管理

(ア) 朝の検温測定（冬期は夕方も実施）、酸素濃度測定その他、個々に必要とする方の血圧測定や排便状況、血糖値測定の確認を、ご本人各ホームのスタッフで行い、体調面の把握に努め、通院時のデータになるよう把握に努めました。また、日中の通所事業所と検温数値の情報共有にも努めました。

(イ) 急病時の通院支援が必要な時は、サービス管理責任者、生活支援員、ホームスタッフ及びバックアップ施設によるサポートを行いました。

(ウ) 定期的な通院支援が必要な利用者には、ヘルパー付添いやホームスタッフ、生活支援員、サービス管理責任者等による支援を行いました。

(エ) 継続的な疾病治療や薬の管理が必要な利用者へのサポートを、医師の指示のもと行いました。

(2) 職員研修

- ア 虐待防止研修を2回実施し、支援が困難な利用者の情報共有に関することや、不適切支援事例のロールプレイの検討等の研修を行いました。
- イ 事業所内の虐待防止委員会の体制を再構築しました。委員会参加者は各グループホームの代表者、虐待防止マネージャー、管理者です。毎月委員会を実施し、ホームの状況の情報共有や、困っていること、研修等について話し合っています。
- ウ 各ホーム会議 2ホーム毎、隔月開催(2月より毎月開催)

(3) 金銭の管理

- ア 預貯金の管理について
  - (ア) 入出金への対応、また金銭管理の方法について利用者への支援を行いました。
  - (イ) 預金残高報告書を作成し、保護者への情報提供を行い、安定した経済活動が維持できました。
- イ 利用者への支援について
  - (ア) 計画的な金銭の使い方や小遣い管理等の支援を行うことで、安定した入出金ことができました。

(4) 防災関係について

- ア 年2回防災訓練を実施しました。

### 3 さくらグループ利用状況

さくら荘 定員 9名	令和4年度		令和5年度	
	延べ人数	利用率(%)	延べ人数	利用率(%)
4月	266	98.5	263	97.4
5月	275	98.6	262	93.9
6月	265	98.1	263	97.4
7月	267	95.7	243	87.0
8月	274	98.2	259	92.8
9月	265	98.1	266	98.5
10月	273	97.8	275	98.6
11月	265	98.1	263	97.4
12月	266	95.3	266	95.3
1月	270	96.8	256	91.7
2月	245	97.2	218	83.5
3月	272	97.5	214	76.7
合計/平均	3,203	97.5	3048	92.5

\* 6月30日付け(1名退所、養護老人ホーム入所のため)

\* 8月、9月(同一者1名体験利用、10月付けにて入所)

\* 1月、2月、3月(同一者1名入院)

\* 3月16日付け(1名退所、死去のため)

せがが荘 定員 7名	令和4年度		令和5年度	
	延べ人数	利用率(%)	延べ人数	利用率(%)
4月	209	99.5	210	100
5月	217	100.0	212	98.1
6月	210	100.0	210	100
7月	217	100.0	217	100
8月	217	100.0	213	98.1
9月	210	100.0	210	100
10月	213	98.2	217	100
11月	210	100.0	210	100
12月	214	98.6	213	98.1
1月	213	98.2	213	98.1
2月	196	100.0	203	100
3月	217	100.0	217	100
合計/平均	2,543	99.5	2545	99.3

ふじの花 定員 4名	令和4年度		令和5年度	
	延べ人数	利用率(%)	延べ人数	利用率(%)
4月	90	75.0	119	99.1
5月	93	75.0	121	97.5
6月	90	75.0	120	100
7月	95	76.6	121	97.6
8月	93	75.0	116	93.5
9月	90	75.0	118	98.3
10月	107	86.3	124	100
11月	114	95.0	120	100
12月	120	96.8	122	98.3
1月	120	96.8	119	95.9
2月	112	100.0	116	100
3月	124	100.0	124	100
合計/平均	1,248	85.4	1440	98.3

かえで 定員 10名	令和4年度		令和5年度	
	延べ人数	利用率(%)	延べ人数	利用率(%)
4月	300	100.0	296	98.6
5月	282	91.0	309	99.7
6月	300	100.0	299	99.7
7月	310	100.0	308	99.4
8月	310	100.0	298	96.1
9月	299	99.7	287	95.6
10月	308	99.4	284	91.6
11月	277	92.3	268	89.3
12月	275	88.7	277	89.3
1月	275	88.7	277	89.3
2月	261	93.2	287	98.9
3月	296	95.5	306	98.7
合計/平均	3,493	95.7	3496	95.5

\*令和5年10月(1名入院)11月、12月、1月(1名同一者老健入所、リハビリ目的のため)



令和5年度

奥野苑拠点区分

事業報告書

## 第1 特別養護老人ホーム奥野苑

### 1 総括

特別養護老人ホーム奥野苑においては、一年を通して、感染症対策を講じてきました。令和5年5月～6月、令和5年8月～9月、令和6年2月～3月に新型コロナウイルス感染症が施設内にて発生し、一日も早い収束に向け対応に努めました。

令和5年度は、退所者が12名でしたが、優先入居上位者を奥野苑短期入所生活介護事業所で長期利用できるよう調整し、特養の空床が出た翌日には即入居ができるようにすることで、入退所における空所は0となりました。

2件の入院による空所はありましたが、年間目標であった96%を超える利用率を得ることができました。

### 2 実施状況

#### (1) 入居者の日常生活の充実

感染症が確認されていない期間は、ご家族と積極的に面会をしていただくことで、入居者のご家族の関係性をより良好な状態へ繋げることができました。

#### (2) 食事について

施設は入居者の生活の場であり、食事は入居者にとって生命の源であるとともに最大の楽しみであることを常に念頭に置き、季節感のある変化に富んだ食事を提供できるように心がけました。

また、個々のアセスメントに基づいた栄養ケアプラン作成に取り組み、食におけるニーズの確認やその課題における共通認識から多職種で連携し入居者の栄養改善及び処遇向上に努めました。

#### (3) 保健・衛生について

入居者が安心して生活ができるよう日々の健康管理を行いました。日々の介護、看護の中で嘱託医である高野医師の指導の下、確実なテクニックや知識、対策の検討を重ね、新型コロナウイルスや他の感染症についても皆で共有し、急変時においても迅速な対応をすることができました。

#### (4) 防災対策について

月1回行う防災訓練に加え、火災や大規模災害に備えるため10月に総合防災訓練を実施しました。実施に伴い伊東市消防団第2方面隊(川奈・吉田・荻・十足)の協力を得ることができました。

#### (5) 施設内修繕について

- ア 受水槽パネルと給水ポンプの損傷及び劣化により更新しました。
- イ 特殊寝台を3台更新しました。

### 3 利用実績

#### (1) 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	1,477	1,550	1,500	1,550	1,550	1,497	
令和4年度	1,500	1,530	1,499	1,548	1,548	1,482	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	1,521	1,500	1,537	1,550	1,450	1,550	18,232
	1,550	1,481	1,540	1,549	1,392	1,548	18,167

#### (2) 面会者来苑状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和5年度	49	30	35	49	38	9	
令和4年度	22	7	27	32	3	10	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	39	34	40	35	26	19	403
	31	36	28	9	9	13	227

施設内感染状況を考慮し、感染症防止委員会で面会の可否について検討しました。

#### (3) 月別入退所者数

	入所の状況					退所の状況		
	家庭	病院	老健	養護老人ホーム	有料老人ホーム	死亡	病院	家庭
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月	3					3		
10月	2					2		
11月								
12月								
1月								
2月	3					3		
3月	4					4		
計	入所者数 12 名					退所者数 12 名		

## 第2 奥野苑指定短期入所生活介護事業所

### 1 総括

令和5年5月～6月、令和5年8月～9月、令和6年2月～3月に新型コロナウイルス感染症が施設内にて発生し、事業を一時縮小または休止したことで大幅な稼働率の低下となりました。

利用率低下の要因の一つとして、新規利用者数は増加しましたが、一時利用の方が多く、定期利用になる前に老健施設へ入所する方が多かったことも考えられます。

### 2 利用実績

	令和4年度（延べ利用者数）			令和5年度（延べ利用者数）		
	一般	介護予防	計	一般	介護予防	計
4月	473	9	482	487	0	487
5月	317	0	317	529	0	529
6月	405	8	413	511	0	511
7月	434	10	444	602	0	602
8月	439	8	447	608	0	608
9月	383	9	392	322	0	322
10月	448	9	457	419	0	419
11月	399	0	399	519	0	519
12月	389	8	397	598	0	598
1月	473	0	473	605	4	609
2月	370	0	370	463	0	463
3月	375	0	375	164	0	164
計	4,905	61	4,966	5,827	4	5,831

## 第3 奥野苑デイサービスセンター

### 1 総括

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けず、前年度より利用者延べ人数は大きく増加しました。また感染者が出た時点で適切な対応を図り感染が拡大することなく一年を通じてサービスを休止することなく営業することができました。

年間行事に関しても、感染対策を行いながら慎重に行うことで予定通りに開催することができ、利用者から大変喜ばれました。

## 2 年間実施行事

	行事名	内容
4月	お楽しみ昼食	従来の回転寿司は、感染予防の観点より回転レーンを使用することができませんでしたが、各種ネタから選んでいただき召し上がっていただきました。
5月	端午の節句	兜飾りを出し、こいのぼりを上げ、菖蒲湯に入ってもらいました。
7月	七夕祭り	笹の葉に飾り付けし、一人一人願掛けしました。
8月	おやつレクリエーション	アイスクリームに好きなフルーツやお菓子を盛り付け、フルーツフェアを召し上がっていただきました。
9月	敬老会	喜寿、米寿等該当者の表彰を行いました。
11月	焼き芋会	焼きたての焼き芋を提供しました。
12月	クリスマス会	クリスマスケーキを食べ、ビンゴゲームを行いました。
1月	お正月会	お正月の遊びや飾り付けを楽しみました。
2月	節分会	豆まきで厄払いをしました。
3月	桃の節句	雛人形を飾り記念撮影をしました。

## 3 利用実績

	令和4年度実績（延べ利用者数）			令和5年度実績（延べ利用者数）		
	一般	総合事業	計	一般	総合事業	計
4月	497	58	555	512	36	548
5月	230	24	254	558	40	598
6月	516	52	568	544	41	585
7月	531	46	577	563	39	602
8月	442	50	492	554	44	598
9月	458	52	510	558	40	590
10月	486	61	547	590	41	631
11月	517	64	581	576	42	618
12月	320	39	359	569	37	606
1月	439	50	489	499	35	534
2月	455	48	503	524	40	564
3月	522	37	559	549	42	591
計	5,413	581	5,994	6,596	477	7,073

#### 第4 奥野苑ヘルパーステーション

##### 1 総括

ヘルパーの人材不足は継続のまま、最終的には840件程の減となりました。

新規利用者の依頼もありますが、単発利用が多くありました。利用低下の要因としては、利用者様の身体状況の低下が著しく、在宅困難となり施設入所される方が急激に増加したことが考えられます。

##### 2 利用実績

	令和4年度実績（延べ利用者数）			令和5年度実績（延べ利用者数）		
	一般	総合事業	計	一般	総合事業	計
4月	294	216	510	306	245	551
5月	346	203	549	299	261	560
6月	292	239	531	294	249	543
7月	348	240	588	292	259	551
8月	347	221	568	270	239	509
9月	363	205	568	244	231	475
10月	364	263	627	234	250	484
11月	382	249	631	251	226	477
12月	343	235	578	254	228	482
1月	312	223	535	258	194	452
2月	303	242	545	259	202	461
3月	329	269	598	241	200	441
計	4,023	2,805	6,828	3,202	2,784	5,986

#### 第5 奥野苑指定居宅介護支援事業所

##### 1 総括

退職職員と入れ替わりに新人職員が入職し、体制は5名のままですが、急激に新規利用者の対応を増やすことは困難なため、職員の負担を考え徐々に対応しました。ケアプラン作成数は、昨年度に比べ、要支援・要介護ともに

全体的に減少しました。内訳として、包括の要支援の委託数は減少し、要介護の依頼が増え続けています。

## 2 実施状況

### (1) 居宅サービス計画の作成

利用者の心身の状況や家族の希望などを把握し、必要なサービスを提案し、居宅サービス計画の原案の作成説明を行い、利用者や家族の同意を得られるよう努めました。

### (2) アセスメント・モニタリング

利用者の状況やサービス実施状況などの情報を収集し、利用者のニーズや解決すべき課題を抽出しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も感染予防対策を図り、サービス事業所と情報共有することで目標達成に向け適切に対応できるよう努めました。

### (3) 給付管理業務

区分支給限度額の管理に留意し、利用者の負担軽減に努めるとともに、介護報酬請求において、実績確認を行いサービス事業所との相違が無いよう努めました。

### (4) 相談業務

利用者からの相談を受け、介護認定申請の援助、介護保険サービスやその他制度に関する説明を行いました。

### (5) 訪問調査

伊東市から依頼のあった、要支援・要介護認定調査を実施しました。

### (6) 職員研修

小室圏域の地域ケア会議や勉強会、主任ケアマネの企画した GSV、法定研修、市内外のオンライン研修などに積極的に参加し、職員の研鑽に努めました。

## 3 利用実績

	令和4年度実績		令和5年度実績	
	ケアプラン作成		ケアプラン作成	
	要支援 1、2 (委託)	要介護度 1～5	要支援 1、2 (委託)	要介護度 1～5
4月	32	149	28	131
5月	34	152	27	132
6月	36	159	28	127
7月	35	154	26	130
8月	33	152	26	135

9月	39	154	29	143
10月	37	153	28	149
11月	36	149	28	148
12月	36	151	25	152
1月	33	145	25	158
2月	33	142	24	161
3月	34	143	23	164
計	418	1,803	317	1,730

## 第6 小室地域包括支援センター

### 1 総括

新型コロナウイルス感染症の影響はあまり感じられなくなりましたが、特に委託利用者の要介護状態への悪化が目立ち、ケアマネジメントプラン数の減少に繋がりました。また、市内ケアマネージャー数の減少に伴い、直営で持たざるを得ない状況もあり、直営のケアマネジメントプラン数は増加となりました。近年、困難ケースが増加傾向にあり、相談数・ケースに関わる時間も増加傾向にあります。

地域ケア会議では昨年に引き続き『共生型居場所の創出』に向けて、地域住民や関係者に集まっていたいただき、様々な意見を頂くことができました。年度末には共生型イベントを開催し、地域住民への理解普及に努めました。

機関紙『こむろタイムズ』を2か月に1回、圏域内の町内に回覧板で閲覧していただき、徐々に周知されてきています。

会議や研修はオンラインでの開催が基本となる中、積極的に参加しました。主な活動としては高齢者の居場所支援、サロン・認知症カフェ・チームオレンジの開催等となりました。

### 2 実施状況

#### (1) 要支援1・2 介護予防ケアマネジメントプラン

区 分	直 営		委 託	
	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度
事業対象者給付管理数	326	343	12	12
要支援 総給付管理数	516	491	324	292
要支援 総給付管理数	670	850	841	722

うち新規契約分	43	54	41	24
うちプラン継続分	1,469	1,630	1,136	1,002

(2) 会議等開催状況

運営状況	令和 4年度	令和 5年度	運営状況	令和 4年度	令和 5年度
地域づくり会議	70	82	関係団体の会議	10	26
包括会議	9	11	研修会	42	51
包括部会	10	10	その他	15	7
ケアマネ部会	1	4	合 計	157	191

3 利用実績

(1) 相談実績(内訳)

相談件数	令和4年度	令和5年度
来所	158	132
訪問	1,872	2,131
電話	3,081	3,153
その他	330	369
合 計	5,441	5,785

(2) 相談内容(内訳)

相談内容	令和4年度	令和5年度
介護保険(介護予防)に関する相談	4,068	4,523
認知症等に関する相談	242	242
在宅介護に関する相談	271	258
施設入所に関する相談	116	138
医療に関する相談	844	812
住宅改修・福祉用具に関する相談	266	364
権利擁護・成年後見制度に関する相談	19	25
虐待に関する相談	25	7
その他(家族・障害・経済問題等)	802	848
合 計	6,653	7,217

第7 奥野苑介護予防事業所

1 総括

伊東市からの受託事業で、伊東市が行う5学年と介護認定を受けていない独居及び高齢世帯者の対象高齢者への基本チェックリストを基に、伊東市が選定した一般介護予防事業・通所型サービスC教室型対象者に対し、地域ご

と（川奈・吉田・荻・十足）に教室案内を郵送、回覧板・広報いとうへの掲載を行い、参加者を募り、介護予防教室を開催しました。

教室では、参加者がいつまでも健康で生きがいを持ちながら日常生活を送り、普段の生活の中でも楽しく活用できる体操の紹介や指導を行いました。昨年度より、体操以外に栄養講座や歯科講座が追加され実施しています。

## 2 一般介護予防教室開催状況

地域（会場）	参加登録	参加延数	開催期間
荻 （生涯学習センター）	38名	280名	4月13日～7月13日 毎週木曜日 10回
川奈 （小室コミセン）	21名	142名	4月14日～7月21日 毎週金曜日 10回
十足 （南一碧台自治会館）	19名	117名	4月10日～8月14日 第2・4・5月曜日 10回
荻 （生涯学習センター）	8名	65名	9月7日～11月9日 毎週木曜日 10回

## 3 通所型サービスC教室型教室開催状況

地域（会場）	参加登録	参加延数	開催期間
4地域 （小室コミセン）	7名	74名	9月15日～12月8日 毎週金曜日 12回
4地域 （生涯学習センター）	7名	59名	12月7日～3月7日 毎週木曜日 12回

## 第8 生活支援体制整備事業所

### 1 総括

伊東市からの受託事業で、歳を重ねても、認知症になっても、住み慣れた自宅や地域で生活できるよう高齢者を地域で支える仕組みづくりや助け合い活動を進め、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員として事業を推進しました。

### 2 実施状況

#### （1）生活支援サポーター養成講座の開催

伊東市高齢者福祉課、第一層及び第二層生活支援コーディネーター等の協力により、市民を対象に生活支援の担い手の養成を図りました。

開催日	場 所	内 容
令和5年1月30日（火） 令和6年2月22日（木）	健康福祉センター 十字の園 （地域交流ホール）	事業説明、地域づくり、認知症サポーター養成講座、高齢者とのコミュニケーション、会員登録

(2) 協議体会議の開催

開催日	場 所	内 容
令和5年7月14日(金) 令和6年2月9日(金)	荻 区民会館 2階	圏域内で活躍しているボランティアを集め、各事業説明や交流を行いました。さらに、協議体として課題の抽出や更なる活動の活発化として、共生型居場所への協力をお願いしました。

(3) 生活支援サポーター事業、事業報告会、フォローアップ研修の開催

令和5年11月30日(木) 市低層棟2階中会議室

サポーターの意識啓発と就労希望者が活躍する場の提供を目的にフォローアップ研修を開催した。各圏域の活動報告や意見交換会、伊東マッチボックスの紹介を行いました。

(4) 運転ボランティア養成研修の開催

令和5年9月22日(金) 午前10時～市展望ギャラリー

午後1時～4時30分

マジオドライバースクール熱海校

運転ボランティアによる活動紹介、参加者の技術習得や能力向上を図ることで意欲ある市民の育成を行いました。

(5) 生活支援サービスの需給調整

実施状況	件数	支援回数
無償(軽微な生活支援)	72件	323回
有償(生活支援)	26件	27回

(6) 関係機関とのネットワーク強化

伊東市高齢者福祉課及び第1層生活支援コーディネーター、市内各圏域第2層生活支援コーディネーターとの定例会議を開催し、連携強化及び情報共有を行いました。

(7) 事業推進及び地域づくりのための啓発活動

小室圏域内の居場所(10ヶ所)・通いの場(2ヶ所)への訪問、活動支援、小室地域包括支援センター主催のサロン(1ヶ所)、認知症カフェ(2ヶ所)の活動支援を行い、事業の周知、啓発を行いました。

(8) 認知症地域支援推進員

ア 認知症の人の早期発見や相談支援、地域包括支援センター等の必要な関係機関への繋ぎや地域課題の抽出

イ 認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座の開催

ウ チームオレンジ 笑笑 立ち上げ・活動支援

- エ 認知症ケアパスの普及啓発
- オ 認知症カフェの開催支援
- カ 認知症地域支援推進員 定例会出席
- キ その他 普及啓発活動

令和5年度

ケアハウス拠点区分

事業報告書

## 1 総括

ケアハウスハーモニーおくのでは法人の理念に基づき、自粛生活におけるストレスや孤独感の解消を図るとともに、安心かつ充実した生活が送れるよう、心身両面での支援に努めました。

新型コロナウイルス感染対策を最優先しながらも、重点目標の達成に向け、職員一丸となり取り組みました。

## 2 重点目標に対する取り組みと成果

今年度掲げた「感染予防対策の徹底」については、様々な情報収集に努めるとともに、感染蔓延状況に応じた対応を図り、館内にウイルスを持ち込まないための対策を講じました。結果、感染症の蔓延もなく一年を過ごすことができました。

「身体機能の現状維持・向上」については、和楽笑楽くらぶを再開し、全身ストレッチや筋力強化に努めました。また個々に助言を行うことで、自ら運動する意欲が増し、一人一人が維持・向上に努めていたことは、成果と感じます。

## 3 実施状況

### (1) 食事について

食事は、季節感や旬の物を積極的に取り入れ、バラエティに富んだ内容となるよう心掛けました。職員献立日には、食事を更に楽しんでいただけるよう味はもちろん雰囲気や見た目にも配慮しました。バイキングメニューでは、毎月のメニュー充実とともに食欲減退の夏期においては、入居者の喜ぶメニューを盛り込み、食欲増進と体力低下防止に努めました。さらに、入居者の嗜好や身体状況の変化を考慮し、臨機応変に対応することができました。

### (2) 入浴について

月～土曜日の15:00～22:00の入浴時間に、入居者が快適に入浴できるよう準備を整えました。(夏期については日曜日シャワー浴実施)またレジオネラ水質検査も年2回実施を厳守し浴室の衛生面についても充分留意しました。

### (3) 園内美化について

入居者が快適に生活していただけるよう日頃より清掃を行い、園内美化の維持・向上に努めました。

### (4) 各種相談について

入居者の生活全般にわたり、各種の相談に応じるとともに必要時には関係機関の紹介等の援助も行い、日頃より信頼関係の構築に努めました。ただし、金銭に関する相談については身元引受人に連絡し施設側は関与しないことを継続して徹底しました。

( 5 ) 緊急時の対応について

入居者の緊急事態の際は各機関と連携し、迅速な対応に努めました。  
災害等に関しても日常より防災を心掛けるとともに、万一の事態に備え常に万全の管理体制がとれるよう配慮しました。

( 6 ) 処遇上の留意点について

ア 介護予防の実践

身体機能及び認知機能の低下防止を目的として、感染対策に留意し、和楽笑楽くらぶを再開いたしました。昨年に引き続き「はーもにー新聞」を活用し、個々に脳トレができるよう支援しました。また、職員も介護予防的要素を取り入れ、和楽笑楽くらぶや行事が単調とならぬよう努めました。

イ 季節感ある行事と外出

感染対策の観点から園外活動は自粛し、園内活動では、季節感や社会変化を実感できる内容を企画し、楽しく有意義な時間となるよう努めました。また、毎月でりばりーを開催し、外食気分を味わっていただきました。

ウ 入居者に対する共通認識

申し送りや定期会議の中で、全体や入居者一人一人の情報交換・意見交換の実施により、共通認識の徹底に努め共通した対応に尽力しました。

( 7 ) 保健衛生について

年々変化する入居者の心身状況を、バイタルチェックや日常会話等から把握することにより、早期対応に努めました。

入居者には年一回、各自かかりつけ医にて健康診断を実施していただき、一人一人の健康状態の把握に努めました。

更に状況調査を年一回行い、身体状況の把握、加えて精神面でのケアに努め、入居者の変化に対し早期発見・早期対応を心掛けました。

なお、日頃より衛生面には十分な配慮を行うとともに、感染症・食中毒対策委員会を開催し、その結果を反映させ、季節性の流行病（インフルエンザ・風邪・食中毒・ノロウイルス・脱水等）に対してはうがい・手洗いの励行や水分補給等の掲示・助言により注意喚起をおこない、必要時には通院にも同行しました。また、館内の温度・湿度設定にも十分配慮しました。

新型コロナウイルス対策としても毎日の検温体調チェック表の提出の継続実施のほか、日々の状況に応じた対応を迅速に行い、館内消毒の徹底、社会的距離の保持、面会の自粛など細心の注意を払いながら館内に持ち込まないことを最優先に努めました。

( 8 ) 防災対策について

毎月一回、避難訓練を中心とした防災訓練を実施しました。うち一回は夜間、二回は夜間想定により実施しました。

更に、各居室の点検指導（家具固定・暖房器具等）も適宜実施しました。防災設備は業者が定期的に点検し、非常事態に対応できるよう配慮しました。

また非常食や必要品の在庫・賞味期限のチェックを行い、常に万全の状態の確保を心掛けました。

( 9 ) その他

ア 運転代行業務

買い物や通院、その他の用事で外出をされる入居者のため、月曜日～金曜日の午前（9:30 出発）と午後（3:00 出発）の二回、無償にて車を運行し、外出の支援を行いました。買い物については、感染症対策に留意し、職員同行の元、近隣スーパーやショッピングセンターへの運行を実施しました。

イ 各種委員会の実施

事故防止検討委員会、感染症・食中毒対策委員会、身体拘束適正化対策委員会、虐待対策委員会を、各々3か月に1回開催しました。

4 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	600	620	600	620	651	630	682	660	682	682	638	682	7,747
令和4年度	760	775	750	775	749	720	744	720	744	744	616	682	8,779

5 月別入退去者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和5年度	入居					1		1						2
	退去	2												2
令和4年度	入居													0
	退去	1			1							2		4

令和5年度

やまもも拠点区分

事業報告書

## 第1 ワークセンターやまもも

### 1 総括

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し社会全体が以前の生活に戻りつつある中、ワークセンターやまももでは感染症対策の継続、虐待に対する研修等各種委員会の活動に力をいれることにより人権意識の向上や危機管理の徹底を図り、事業継続を意識した組織作りをしてきました。

また、作業活動においては利用者の方々が働いた対価として満足いただけるよう仕入れ業者、販売価格の見直し等物価高騰に対応すべく対策を行い一昨年に続き、前年度を上回る工賃をお支払いすることができました。

### 2 重点目標に対する取組と成果

令和5年度は、工賃向上3か年計画の最終年となり平均工賃目標額を18,500円としました。観光関係の下請け作業が多く作業量の増加に繋がったことや市民病院内にあるカフェやまももでも来客数が回復したこと、縫製技術の向上によって生産性が高まったこと等により目標工賃を達成することができ、これを機会に新たな作業の開発や施設外就労先の開拓を積極的に行うことができました。

また、関係機関と協力して、企業実習に力を入れた結果、2名の方が一般企業へ就労しています。

### 3 実施状況

#### (1) 利用状況

開所日数 256日

#### ア 就労移行支援事業

(ア) 定員 10名

(イ) 登録者(令和6年3月31日現在) 11名

(ウ) 年間平均利用者数 9.2人

#### イ 就労継続支援B型

(ア) 定員 30名

(イ) 登録者(令和6年3月31日現在) 31名

(ウ) 年間平均利用者数 26.9人

(2) 各事業報告

ア 就労移行支援事業

- (ア) 日ごろの活動の中で、就労に必要な社会スキルや日常生活に必要な知識習得への取り組みを行いました。
- (イ) 企業実習・企業見学参加者数 3名
- (ウ) 一般企業への新規就労者数 2名

イ 就労継続支援B型

工賃月平均支払額 20,880円(前年度 20,274円)
-------------------------------

(ア) 手芸・縫製作業

- a 利用者の縫製技術が向上し生産性が高まったことで新商品の開発に積極的に挑戦しました。

(イ) 製パン作業

- a 仕入れ業者の変更により商品や価格の見直しを行いました。
- b 『ここからマーケット』が、再開され、販売や障がいに対する啓発活動及び工賃向上を目指す活動を行うことができました。  
(手芸共通)

(ウ) リサイクル作業

積極的に回収へ行くことにより地域への周知に繋がりました。

(エ) 喫茶業務

- a 新たにメンバーが加わり利用者同士が協力し助け合っ業務を行うことができるようになり、接客にも生かされるようになりました。
- b 店内にて手芸品、パン等を販売することによって、やまもも活動を周知することができました。
- c 地元の果実を使用した新たなメニューの開発をしました。

(オ) 下請け作業

- a リネン、タオルたたみ  
観光需要の高まりがありタオルたたみやタオルのステッチ付けの仕事を多く請けることができました。
- b 商品梱包作業  
インターネット販売の商品梱包や観光地の土産物の梱包の仕事を積極的に請けることができました。

c 箱折作業

色々な箱折り作業を積極的に請けることができました。

a b cの作業は、観光関連の作業が多く、多くの仕事を請けることができ工賃向上に繋がりました。

d 施設外清掃

伊東市振興公社様からの公園清掃を9か所受託し週3日の契約で清掃に回っています。また、市内企業からは敷地内草刈りを継続して受託することができました。地域の方々に働く姿を見てもらうことにより活動の励みとなりました。

(カ) 農作業・農産物販売

a 一部害獣被害にあったことにより予定していた収穫ができませんでした。

b 地元果実を加工することにより新商品として販売できました。

(3) 全体活動

ア 余暇支援

季節の行事を取り入れ、作業活動の活力としました。

イ 防災・避難訓練

火災、地震、水害に対する避難訓練を実施し、有事の際には落ち着いた行動ができるように訓練を行いました。

ウ 健康相談

中伊豆温泉病院検診車による健康診断を実施し、生活習慣病等の早期発見に努めました。

エ 相談支援

ケア会議の開催、保護者、関係機関との連絡を密にすることにより課題解決に努めました。

オ 自治会・互助会活動

屋外で行う行事に関しては、安全に配慮しながらもコロナ禍前のように行うことができました。

カ 研修・委員会活動

(ア) 12月に感染症研修を行いました。

- (イ) 虐待防止委員会を設置し、虐待防止を啓発・普及するための検討を行いました、10月に虐待防止研修を行いました。
- (ウ) BCP 検討委員会を設置し、検討を重ね、自然災害 BCP と感染症 BCP を作成しました。

令和5年度利用者数実績報告書

就労移行支援 定員10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	208	232	207	211	213	177	196	193	168	169	192	198	2,364
4年度	217	226	241	195	203	218	206	211	198	189	213	246	2,563
前年度比	9	6	34	16	10	41	10	18	30	20	21	48	199
日平均	10.4	10.1	9.4	10.0	9.3	8.4	8.9	8.8	8.4	8.5	9.1	9.4	9.2

就労継続支援B型 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	539	604	590	565	607	548	589	599	552	547	578	570	6,888
4年度	531	560	546	514	551	531	521	519	479	479	468	553	6,252
前年度比	8	44	44	51	56	17	68	80	73	68	110	17	636
日平均	27.0	26.3	26.8	26.9	26.4	26.1	26.7	27.2	27.6	27.4	27.5	27.1	26.9

2事業合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年度	747	836	797	776	820	725	785	792	720	716	770	768	9,252
4年度	748	786	787	709	754	749	727	730	677	668	681	799	8,815
前年度比	1	50	10	67	66	24	58	62	43	48	89	31	437
日平均	37.4	36.3	36.2	37.0	35.7	34.5	35.6	36.0	36.0	35.8	36.7	36.6	36.1

令和5年度

こもれび拠点区分

事業報告書

## 第1 生活介護事業所こもれび

### 1 総括

委員会を中心に感染対策や環境面に配慮し、利用者が過ごしやすいように取り組みました。9月に台風の影響で1日閉所をしました。

活動は作業と創作活動、個別活動やリハ等の組み合わせを週案で組み立て、入浴を行いながら利用者が様々な活動に参加し、有意義な時間となるよう支援しました。

創作活動では利用者中心に準備から片付け、掲示等の手伝いをしてもらい出来上がった作品を紹介し合い、活気のある活動となりました。

レクリエーションや行事ではグループやチームで分かれ利用者同士で協力し参加することで競いながらも認め合い、良い雰囲気で行うことができました。

作業では環境設定に気を配りそれぞれの工程で得意を活かし、できる活動が増えることでやる気や生きがいにつながりました。

日常的に感染症対策や清掃を心掛け、定期的に会議を行い感染防止に努めました。

### 2 重点目標に対する取組と成果

- (1) 活動検討委員会を中心に利用者の興味や個々の好みに合う活動の機会を提供しました。火曜日と木曜日に個別活動を行い、利用者同士でゲームを楽しみ盛り上がる姿みられました。個々の好きな活動を行うことで心の安定を図り充実した時間となりました。
- (2) 職員会議で利用者がどう過ごす心地が良いか環境について話し合いました。よりよい環境にするために丁寧な呼びかけや声かけをするよう職員に対し強化する取り組みを行いました。呼びかけることで丁寧な対応を心がける職員みられました。

### 3 実施状況

#### (1) 実施日課等

	月	火	水	木	金
午前	朝の会 入浴 創作活動	朝の会 散歩	朝の会 入浴 作業	朝の会 散歩	朝の会 入浴 創作活動
午後	入浴 作業 帰りの会	散歩 個別活動 個別リハ 帰りの会	入浴 創作活動 帰りの会	散歩 個別活動 個別リハ 帰りの会	入浴 作業 帰りの会
その他	<p>誕生日会（随時実施）：昼食希望メニュー                      手作り誕生日カード                      創作活動：季節に合わせた壁面飾り・カレンダー作り等                      個別活動：アイロンビーズ・手芸・パズル・塗り絵・ゲーム                      デッサン・スヌーズレン等                      作業：箱折り・紙袋作り・ミシン・リサイクル                      スイーツパック詰め・ポチ袋作り等                      レクリエーション：カラオケ・ゲーム等                      ティータイム・スイーツデリバリー（随時実施）                      防災訓練：時間帯不定期（1回/月）                      園芸活動：花壇・こもれびファーム                      中伊豆リハビリ理学療法士訪問（1回/月）                      仲程医師回診（1回/月）</p>				

(2) 行事・活動等

実施月	内容	参加人数
4月	お花見ドライブ	24名
5月	写生大会	19名
	スイーツデリバリー	14名
	地域清掃(富戸公園)	19名
6月	収穫祭(こもれびファーム:じゃがいも)	20名
	ボウリング大会	17名
7月	七夕会	18名
8月	暑気払い	21名
9月	運動会	19名
10月	ハロウィンパーティー	18名
11月	171伝言ダイヤル訓練	26名
	紅葉ドライブ	23名
	障害者週間準備(ポケットティッシュ作成)	26名
12月	障害者週間パネル設置(富戸コミセン)	
	クリスマス会	20名
	年忘れ紅白歌合戦	19名
1月	書初め大会	26名
	新年会(昼食デリバリー)	20名
2月	節分レク(豆まき)	20名
3月	ひなまつり会	17名
	福祉大会ラッピング作業	18名

#### 4 利用実績

月	利用者数	利用人数	開所日数	平均利用者数	送迎延べ人数
4月	26	380	20	19	652
5月	26	421	23	18.3	737
6月	27	412	22	18.7	737
7月	27	399	21	19	716
8月	26	428	23	18.6	772
9月	26	357	20	17.85	635
10月	26	405	22	18.4	726
11月	25	389	22	17.6	680
12月	25	347	20	17.35	628
1月	27	357	20	17.85	643
2月	27	408	21	19.4	742
3月	27	342	21	16.2	612
計	-	4,645	255	18.18	8,280

## 第2 こもればショートステイ

### 1 総括

ショートステイ希望の利用者の方には面談を行い、自宅での過ごし方と変わらないよう対応し、ゆったりと穏やかな時間となるように支援しました。ショートステイの利用希望日が他の利用者の希望と重なることがありましたが、日程調整をすることで希望に沿った利用をしていただけました。ショートステイ利用前の利用者の体調確認を行い、居室の消毒や換気、清掃等の対応を強化し安心して利用できるよう努めました。急な体調不良や感染症による中止もありましたが、なるべく空所を利用してもらえるよう努めました。

## 2 実施状況

### (1) 事業内容

ア 利用対象者：短期入所利用決定を受けている障害者

イ 利用定員：短期入所：2名（単独型）

ウ 支援内容

（ア）食事・排泄等の日常生活動作を支援しました。

（イ）家族、関係各機関との連絡・調整、相談受付を行いました。

### (2) 効果

ア 家族の予定等で、当日の依頼にも対応しました。

イ 利用に関する相談や面談を行うことで、利用者に関する状況の把握ができました。

## 3 利用実績

短期入所年間利用者数：126名

## 第3 こもれびショートステイ（日中一時支援）

### 1 総括

家族の就労や外出等で利用される方が多かったです。家族の急な用事での依頼は、当日の利用希望に沿い対応しました。利用の際は検温や消毒、定期的な換気を実施し、安全に過ごしていただけるよう支援しました。

## 2 実施状況

### (1) 事業内容

ア 利用対象者：伊東市に在住し、日中一時支援利用決定を受けている人

イ 利用定員：安全にお預かりできる範囲内

ウ 利用時間：8：00～17：00まで

時間外の利用については相談に応じ対応しました。

### (2) 効果

家族の介護負担軽減や当日の急な用事等に対応することで、家族の大切な時間を作ることができました。

### 3 利用実績

日中一時支援年間利用者数：26名

## 第4 相談支援センターいぶき

### 1 総括

家族状況や本人の状態の変化に対し福祉サービスを利用することでその方の日常生活が保てるよう支援しました。依然児童生徒の放課後等デイサービス利用のニーズはあり、利用に向けての支援も多く対応しました。障害のある方の生活課題は多様化しており、都度課題にあった関係機関と連携して対応しました。

### 2 重点目標に対する取り組みと成果

職員自身が日々の気づきを意識してより良い利用者への対応や環境整備に繋がるように心がけました。

### 3 実施状況

#### (1) 活動内容

熱海市	伊東市
ふれあいコアラ教室 1回/月 市役所サテライト相談 1回/月 個別支援会議(75回)	さくらんぼ教室 1回/月 リトルキッズ 1~2回/月 twinkle 1回/月 市役所サテライト相談(2回/月) 個別支援会議(307回)
その他	
<ul style="list-style-type: none"><li>・おにぎりの会 1回/月 ・菜の花会 2回/月</li><li>・さくらの会不定期</li><li>・伊豆地区就業促進協議会・おおむろ連絡会議</li><li>・地域自立支援協議会(庶務受託・知的障害部会・児童部会・重心部会・就労支援部会・伊東市防災グループ会議・放課後等デイサービス連絡会・発達ワーキンググループ会議・相談支援連絡会・部会長会議)</li><li>・圏域自立支援協議会(スーパーバイザー設置事業受託・地域移行部会)</li><li>・静岡県在宅重症心身障害児(者)療育支援事業委託</li></ul>	

## (2) 相談内容と成果

- ア 感染症対策は継続し、市内の感染者情報を把握し状況に合わせ会議や訪問、療育活動を実施しました。
- イ 医療的ケアが必要な方の短期入所の希望があり、利用できる事業所への利用調整をしました。家族状況の変化で現状の生活が難しくなり施設入所やグループホーム、短期入所利用への利用調整をしました。利用者や家族にとって初めての福祉サービス利用となったケースもありましたが、関係機関の連携もあり、本人や家族の意向や状況をふまえた利用ができました。
- ウ 一人暮らしの方や不安の多い方からの相談が継続しており、多職種との連携のもと個別に対応しながら安心した生活に向け支援を行いました。
- エ 放課後等デイサービスと児童発達支援のサービス等利用計画の作成依頼は継続して増えています。利用希望者は、特別支援学校から普通級に在籍する児童まで多岐に渡っています。新規事業所が開設され利用者には選択の幅ができました。
- オ 強度行動障害の方の受け入れ施設での個別支援会議に参加し現状を確認しながら今後の支援についてできることの検討を進めています。また、強度行動障害の方を地域で受け入れるために必要なことを考える強度行動障害検討委員会において、支援者のスキルアップを中心に検討、研修、実践等を継続して進めています。
- カ 当センターでは主に知的障害のある方と児童の計画作成を担当しています。令和5年度の作成者数は406件でした。

## (3) 課題

- ア 短期入所及び日中一時支援は需要が多い状況は継続しており、今後も需要の多さに変化はないと思われます。支援のある住まいが必要な方への資源、将来のために経験をするための資源、土日に支援が必要な方が有意義に時間を過ごすための資源があると安心です。資源やシステムづくりは地域の課題です。
- イ 医療的ケアや身体障害のある児童が利用できる事業所は限られています。家族の負担軽減のためだけでなく早期療育の視点からも他児や適切な支援のある環境で刺激を受ける機会の創出は必要ですが、受け入れには人材確保や環境整備が壁となっています。希望に応えられるような体制づくりを考えていく必要があります。
- ウ 放課後等デイサービス利用は浸透され、特別支援学校から普通級に在籍する児童まで幅広く利用しています。そのため、新規事業所が開所さ

れても希望する事業所で希望する日数利用することは難しい状況になっています。また、家庭で抱える課題はサービス利用だけで解決するとは言えません。教育や障害担当以外の行政との連携が必要であることを今後も周知していく必要があります。

エ 一人暮らしの方の金銭管理や通院支援が多くありました。どちらも法定サービスや制度上では補えない部分があるため、今後に対応せざるを得ません。ケースに応じた対応を行政や関係機関と協議しながら進めています。

オ 地域で強度行動障害の方の対応をしていくための検討が必要です。強度行動障害対応研修の受講済み者を中心にスキルアップ、研修、実践等を継続して進めています。

#### 4 利用実績

##### (1) 登録者数(2024年3月現在)

登録者数 640名	新規登録者 31名
-----------	-----------

##### (2) 利用状況

区分	4年度		5年度	
	相談員	療育	相談員	療育
訪問	317	21	318	32
外来	87	-	135	8
同行	78	-	75	-
電話相談	1,337	-	1,488	-
電子メール	451	-	351	-
個別支援会議	299	-	382	-
関係機関	1,576	-	1,925	-
その他	3	-	13	-
合計	4,148	21	4,687	40

幅広く対象とされていた療育の対象者が重症心身障害児(者)に限られたため利用実績が減っています。

## 第5 こもればホームヘルプ

### 1 総括

感染症対策を継続し利用者の状況を把握し、その方に合った支援提供に努めました。利用者の施設入所や同居家族の体調不良によるキャンセルも多くあり実務での成果は思うようにいきませんでした。サービス提供時は感染対策を施し利用者の日々の生活が困る事のないよう支援に努めました。移動支援では市内の感染状況を確認しながら屋外での散策や運動の外出計画を増やし余暇活動を通して潤いのある生活を送れるように支援しました。

### 2 重点目標に対する取り組みと成果

利用者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう暮らしに寄り添う支援に努めました。健康面への配慮に努め利用者の状況をしっかりと把握しました。不安や困り事には解決のアドバイスを行い安心して生活ができるように利用者に寄り添う支援をしました。家族の体調不良による急な依頼や緊急時の利用希望にも可能な限り柔軟に対応しました。

### 3 実施状況

#### (1) 居宅介護

##### ア 活動内容

在宅の障害児(者)が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排泄、及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を適切かつ効果的に行いました。

#### (2) 移動支援

##### ア 活動内容

一人で外出することが困難な方や複数での外出の機会を増やしたい方に対して、目的地へ安心して安全に出かけられるような介助、付添いを行いました。市内の感染状況を確認しながら屋外散策の計画や短時間での散歩などで外出の機会を増やしました。外食や遠出の希望も多くあり時間をずらし人混みを避ける工夫をしながら対応しました。難しい利用希望にもできる限り本人や家族の希望に寄り添いながら利用者の楽しみを増やせるように支援に努めました。

(3) 福祉有償運送

ア 活動内容

一人で公共交通機関を利用することが困難な方に、移動をスムーズに進めるためのサービスとして始められ、通院介助や移動支援の利用時に支援を行いました。

4 利用実績

(1) 居宅介護

利用者数成人 24 名 児童 2 名

	令和 4 年度			令和 5 年度		
	身体介護	家事援助	通院介護	身体介護	家事援助	通院介護
4 月	68.5	61.25	13.0	47.0	43.0	12.5
5 月	59.0	60.5	11.5	48.5	51.0	13.5
6 月	69.0	57.0	9.5	44.5	42.0	14.5
7 月	58.0	55.5	14.0	22.5	49.0	11.0
8 月	60.5	59.5	6.5	20.0	51.0	12.5
9 月	64.5	49.5	14.5	16.0	44.0	16.0
10 月	59.0	39.25	7.0	28.0	37.0	12.5
11 月	53.5	39.5	3.0	27.5	35.5	15.5
12 月	47.0	37.75	8.5	23.5	24.5	13.5
1 月	51.5	42.5	7.5	24.5	34.5	13.5
2 月	43.5	34.25	5.5	19.0	30.5	12.5
3 月	42.0	51.25	11.0	24.5	31.5	11.0
小計	676.0	587.75	111.5	345.5	473.5	158.5
合計	1375.25 時間			977.5		

(2) 移動支援

利用者数

伊東市成人 24 名 児童 0 名

熱海市成人 4 名 児童 0 名

	令和 4 年度		令和 5 年度	
	伊東市	熱海市	伊東市	熱海市
4 月	46.5	8.5	36.5	6.5
5 月	44.5	9.0	35.0	11.0
6 月	41.0	8.0	33.0	8.5
7 月	37.0	5.5	52.0	15.0

8月	15.0	1.0	62.5	12.5
9月	23.5	3.5	51.5	10.0
10月	27.5	7.5	60.5	13.5
11月	17.5	1.0	60.0	19.0
12月	20.0	4.0	59.0	17.5
1月	16.0	4.0	57.5	14.5
2月	17.0	4.0	54.0	12.5
3月	27.0	10.0	74.0	12.5
小計	332.5	66.0	635.5	153.0
合計	398.5 時間		788.5 時間	

(3) 福祉有償運送

運行回数

	令和4年度		令和5年度	
	伊東市	熱海市	伊東市	熱海市
4月	30	0	22	0
5月	26	0	23	0
6月	26	0	18	0
7月	24	0	14	0
8月	12	0	20	0
9月	24	0	14	0
10月	26	0	21	0
11月	10	0	23	0
12月	20	0	26	0
1月	18	0	19	0
2月	19	0	20	0
3月	24	0	27	0
小計	259	0	247	0
合計	259 件		247 件	

令和5年度

奨学金拠点区分

事業報告書

## 1 総括

地域福祉の向上に資する人材の育成及び確保を目的として、社会福祉法人城ヶ崎いこいの里奨学金貸与規則に基づき奨学生を募集するとともに、制度の適正な運用に努めました。

## 2 実施状況

制度の適正な運用に対応いたしました。法人ホームページに募集要項を掲載し、募集内容や奨学金貸与事業の制度を広く周知することで奨学生の募集に努めましたが、令和5年度に新たに奨学金を貸与した者はありませんでした。

令和5年度

城ヶ崎デイサービスセンター拠点区分

事業報告書

## 第1 城ヶ崎デイサービスセンター

### 1 総括

令和5年度は、開所日数240日、登録人数81名(男性9名、女性72名)年間総利用者数は3,485名です。9月と3月に台風や大雨警報の発令により、2日間ご利用者の安全を考慮し休所しています。

7月には伊東市高齢者福祉課から派遣された理学療法士による運動指導研修をデイ職員全員が受講し運動指導のポイント等を学び、8月からは毎月体力測定を実施し運動機能の維持向上を目指しました。

前年に比べ最終登録者は3名の減となっておりますが、総利用者数は104名の増となっております。活動についても、一人暮らしや閉じこもりがちな高齢者を送迎し外出の機会を提供。また、連絡ノートを活用し健康状態のチェックや面談により心身の状態や要望の把握に努めました。その季節にあった外出や物作り、レクリエーションによってご利用者様に喜ばれました。

### 2 実施状況

#### (1) 事業内容

ア 生きがい対応型デイサービスセンターとして、伊東市より委託を受けている施設です。介護保険に該当しない高齢者の日常生活に必要な動作・体力維持・健康増進の介護予防を推進し、様々な趣味、レクリエーション活動を通じ自立した生きがいのもてる生活を送れるように支援し、閉じこもりがちな高齢者や一人暮らしの高齢者に社会参加の機会を提供しました。

#### イ 健康増進のための事業

(ア) 温泉入浴によるリラックス作用の促進、清潔保持に努めるとともに身体の変化を確認しました。

(イ) 健康をチェックしバイタル測定による体調管理を行いました。

(ウ) 体力測定の数値や健康機器を利用し、その方に適した体力や機能維持訓練を行いました。

(エ) 様々なプログラムに参加することで知識の向上。また、困りごとなどの各種相談に対応しました。

(オ) 栄養計算された美味しい食事を提供しました。

#### (2) 生きがい対策のための事業

#### ア 各種プログラム

(ア) 創作活動、頭の体操、各種レクリエーション活動、介護予防体操

(イ) 散歩、買い物、外出活動

イ 年間行事

(ア) 季節に応じた行事のプログラムの提供

(イ) 梅雨明け予想、七夕会、ハロウィーン祭、クリスマス会、節分祭

(3) その他

送迎 マイクロバスと公用車を使用し、利用毎に消毒を行いました。

(4) 年間事業報告

月	事業報告	備考
4月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・防災訓練・塗り絵・頭の体操 プリント・散歩・買い物・シュートゲーム・輪投げ・カレンダー 作成・回想レク	汚泥汲み取り 浴槽水検査
5月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・防災訓練・塗り絵・頭の体操 プリント・買い物・カレンダー作成・皆勤賞表彰・梅雨明け予想	
6月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・防災訓練・塗り絵・頭の体操 プリント・紫陽花作り・やまももパン販売・ボールスライダー カレンダー作成・都道府県ビンゴ・買い物・ウエディングドレス 試着会・長谷川式認知度テスト	館内消毒 煙感知器交換
7月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・やまももパン販売・防災訓練 頭の体操プリント・伝言ゲーム・七夕祭短冊作り・買い物・コグ ニサイズ	
8月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・防災訓練・塗り絵・頭の体操 プリント・こもれびゼリー販売・カレンダー作成・納涼祭・的当 てゲーム・敬老会作品作り・体力測定	消防設備点検
9月	テレビ体操・口腔体操・敬老会・防災訓練・体重測定・頭の体操 プリント・やまももパン販売・カレンダー作成・塗り絵・散歩 ペットボトルボーリング・トルト活用研究会・体力測定	浄化槽清掃 エアコン点検
10月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・散歩・やまももパン販売・防 災訓練・頭の体操プリント・カレンダー作成・塗り絵・玉入れ ハロウィーン仮装大会・パターゴルフ・プチ運動会・体力測定	
11月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・やまももパン販売・防災訓練 買い物・頭の体操プリント・カレンダー作成・塗り絵・散歩・キ ックカーリング・ペットボトルボーリング・都道府県ビンゴ・体 力測定	
12月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・やまももパン販売・防災訓練 買い物・頭の体操プリント・カレンダー作成・塗り絵・正月用工 作・104歳を祝う会・散歩・クリスマス会(ハンドベル・トーンチ ヤイム演奏)・体力測定	館内消毒 浄化槽法定検査
1月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・やまももパン販売・防災訓練 初詣・頭の体操プリント・カレンダー作成・塗り絵・福笑いゲー ム・体力測定	
2月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・やまももパン販売・防災訓練 頭の体操プリント・節分祭・奥野ダム梅見学・散歩・風船バレー 体力測定	消防設備点検
3月	テレビ体操・口腔体操・体重測定・防災訓練・頭の体操プリント カレンダー作成・ひな人形記憶力ゲーム・散歩・買物・写真立て 作り・体力測定	エアコン点検 非常灯修理

### 3 利用実績

#### (1) 運営事業実施状況

##### ア 月別年間一覧表

実施 月別	開所 日数	登録人員		利用人数		合計	体験	総合計	一日 平均	送迎	入浴	給食
		男性	女性	男性	女性							
4	20	84		34	268	302	3	305	15	302	79	305
		11	73									
5	20	86		38	242	280	0	280	14	277	76	280
		12	74									
6	21	84		32	269	301	8	309	15	307	83	309
		12	72									
7	20	86		32	262	294	7	301	15	301	84	301
		11	75									
8	22	86		35	260	295	4	299	14	299	80	173
		10	76									
9	19	86		31	228	259	9	268	14	268	70	132
		9	77									
10	21	87		37	284	321	0	321	15	321	77	321
		9	78									
11	20	85		35	246	281	3	284	14	284	88	284
		8	77									
12	20	82		31	264	295	4	299	15	299	85	299
		8	74									
1	19	80		33	243	276	10	286	15	286	92	144
		9	71									
2	19	78		34	228	262	9	271	14	271	90	173
		9	69									
3	19	81		30	224	254	8	262	14	262	87	262
		9	72									
計	240	81		402	3018	3420	65	3485	15	3477	991	2983
		9	72									

##### イ 新規利用登録・利用解除状況

	男性	女性	合計	備考
新規利用登録者	3	13	16	
利用解除者	5	14	19	介護保険申請のため

## 第2 伊東市老人憩の家城ヶ崎荘

### 1 総括

年間開所日294日、総利用者数は、15,272名、1日平均利用者数は52名と前年と比べ、新型コロナウイルス感染症も少し落ち着いたこともあり、ご利用者数は増加の傾向です。開館日数は台風等により、前年より1日少なかったが総利用者が461名の増加となっております。

開所中の感染症対策として、マスク着用と黙浴を依頼し、入館時の手指のアルコール消毒の徹底と体温測定をお願いし、37.5度以上ある時は、入館をお断りし、浴室や広間については、人数を制限しながらの利用とさせていただき、館内に感染症が持ち込まれないように、換気をこまめに行い安心して利用できるように努めました。館内では利用者同士のトラブルが起きないように配慮し、施設の老朽化による不備で迷惑をかけないようにメンテナンスにも注意し対応いたしました。

防災対策として、毎月1回、デイサービスと合同で防災訓練を実施し非常通報、避難誘導、防災器具の操作が迅速に行えるように訓練を行いました。

温泉の効能は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、関節のこわばり、冷え性、疲労回復などの効果があり利用者には大変好評をいただきました。

### 2 利用実績

会館日数	294日			
総利用者数	11,795組			
	15,272名(1日平均52名)			
男性	6,684名			
女性	8,588名			
入浴利用	11,088名			
ヘルストロン利用	544名			
区 分	集会場	休憩室	合 計	
老 人	レクリエーション	193件 2,584名	218件 799名	411件 3,383名
	研 修	0件 0名	0件 0名	0件 0名
身体障害児・者	レクリエーション	0件	0件	0件
	研 修	0名	0名	0名
その他	レクリエーション	0件	0件	0件
	研 修	0名	0名	0名
合 計	193件 2,584名	218件 799名	411件 3,383名	

令和5年度

おおむろ拠点区分

事業報告書

## 第1 障害者就業・生活支援センターおおむろ

### 1 総括

登録者が相談や話しのできる機会として以前より行っているリモート面談や個別面談会に加え、仕事帰りに話せる場所として「おおむろしゃべりば」を開催しました。また、障害者雇用の機会の拡大として障がいのある方やご家族が企業と直接話ができる「企業と語ろう in いとう」を他機関と共催いたしました。コロナ禍が収束となり積極的に職場開拓を行ったことで職場実習の機会が増加し就職に繋がりました。

### 2 実施状況

#### (1) 活動内容

- ア 企業への支援（90事業所、601件）
- イ 職場定着促進のための在職者交流活動の実施（2回開催）
- ウ 個別面談会の実施（熱海・伊東各1回）
- エ ピアサポート活動（1回開催）
- オ おおむろしゃべりばの実施（4回開催）
- カ 中小企業における障害者支援担当者に対する支援（2回開催）
- キ おおむろ連絡会議の主催（2回開催）
- ク 熱海・伊東地区地域自立支援協議会就労支援部会の開催（5回開催）
- ケ 熱海・伊東地区地域自立支援協議会運営会議、定例会への参加
- コ 伊豆地区就業促進協議会への参加（2回参加）
- サ 伊東市障害者雇用推進会議への参加（3回参加）
- シ 他の就業・生活支援センター連絡会議への参加（会議4回）
- ス 余暇支援 スマイル会（9回開催）

#### (2) 相談内容と傾向

##### 内容

- ア 登録者及びその家族、支援機関からの求職に関する相談
- イ 企業及び登録者からの就労の継続に関する相談
- ウ 生活に関する相談
- エ 関係機関との連絡調整

##### 傾向

- ア ジョブコーチ支援について企業担当者向けセミナーを開催し、令和5年度は3社がジョブコーチ制度を活用しました。

- イ 同居している家族の高齢化などで家族から生活面での支援が受けられないケースが増えています。また、登録者が仕事後に弟妹の世話や家事をしている家庭も増えています。
- ウ 余暇支援スマイル会は参加者のストレス発散の機会のみにとどまらず、参加者に幹事として計画から実施までに携わっていただくなど自主性を意識した支援を行いました。
- エ 関係機関との連携を密にし、登録者の新規就労支援、就労定着支援、福祉就労への支援を行いました。

### (3) 課題

- ア 就職時の企業と登録者のミスマッチを減らし、就職後も安心して働けるよう支援を強化いたします。
- イ 登録者が安心安全に生活を行えるように障害者差別解消法における事業主による合理的配慮の提供及び障害者雇用について圏域内の企業に周知いたします。
- ウ 面談や家庭訪問を行い家庭環境や生活状況を確認し、登録者が望む生活を送れるように関係機関と連携し支援を行います。

## 3 利用実績

### (1) 登録状況

	身体		知的		精神		その他		合計		前年度比
	令和4年度	令和5年度									
在職中	24	24	114	113	34	31	1	1	173	169	97%
求職中	6	2	7	11	6	10	1	0	20	23	115%
その他	24	11	58	44	60	31	2	0	144	86	59%
合計	54	37	179	168	100	72	4	1	337	278	73%

令和5年10月に登録者の整理を行いました。

( 2 ) 支援実績

	相談・支援（内職場訪問）		職場実習件数		就職件数	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
4月	128 (28)	80 (23)	0	1	3	6
5月	101 (31)	123 (29)	4	1	0	1
6月	102 (31)	122 (11)	0	1	1	1
7月	107 (43)	104 (12)	2	5	2	2
8月	175 (15)	103 (18)	1	1	2	3
9月	128 (38)	100 (19)	1	2	0	1
10月	125 (24)	120 (20)	0	4	3	0
11月	112 (17)	110 (22)	1	0	0	5
12月	93 (19)	100 (24)	1	3	1	1
1月	111 (18)	125 (23)	1	2	2	2
2月	107 (33)	133 (26)	2	0	0	1
3月	132 (21)	92 (23)	3	2	0	0
合計	1,421 (318)	1,312 (250)	16	22	14	23
対前年度比	93% (78%)		84%	137%	100%	164%

## 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項に該当する事項はありません。

社会福祉法人城ヶ崎いこいの里